

令和2年度 事業計画書

社会福祉法人 落穂会

1 評議員会・理事会の開催予定及び監事監査実施予定について

令和2年 5月 監事監査 あさひが丘学園会議室

監事二人による令和元年度の本部並びに施設の運営状況及び会計経理についての監査実施

令和2年 5月 第1回理事会の開催及び審議予定事項

あさひが丘学園会議室

- *令和元年度本部事業報告並びに決算について
- *令和元年度各施設事業報告並びに決算について
- *令和元年度本部並びに各施設の監事監査結果について

令和2年 6月 第1回評議員会の開催及び審議予定事項

パレスイン鹿児島

- *令和元年度本部事業報告並びに決算について
- *令和元年度各施設事業報告並びに決算について
- *令和元年度本部並びに各施設の監事監査結果について

令和2年11月 第2回理事会の開催及び審議予定事項

あさひが丘学園会議室

- *各拠点区分の補正予算について
- *各規程の一部改正について

令和3年 3月 第3回理事会の開催及び審議予定事項

あさひが丘学園会議室

- *各拠点区分の補正予算について
- *平成32年度拠点区分の事業計画及び当初予算について
- *施設長の定年の延長につて
- *各規程の一部改正について
- *鹿児島県及び鹿児島市の指導監査結果について

2 現在法人の行っている事業

〔あさひが丘関係事業〕

事業所名	事業種別	定員	職員数
あさひが丘学園	障害児入所施設	28名	21名
あさひが丘	障害者支援施設	40名	70名
	生活介護	94名	
	短期入所	18名	
	日中一時支援	—	
児童発達支援センター歩路	児童発達支援	25名	33名
	放課後等デイサービス	20名	
	保育所等訪問支援	—	
ワークショップあすもね	就労継続支援B型	26名	11名
	生活介護	9名	
あさひが丘相談支援センター	相談支援	—	6名
グループホームあさひが丘	共同生活援助	50名	34名
ヘルパーステーションとわ	居宅介護・行動援護・移動支援	—	2名
ガーデンキッズセルク	児童発達支援	10名	9名
	保育所等訪問支援	—	
ガーデンキッズトリア	児童発達支援	10名	10名
	放課後等デイサービス	10名	
	保育所等訪問支援	—	
シュバル	放課後等デイサービス	10名	7名
	保育所等訪問支援	—	
こどもサポートセンターゆうひが丘	児童発達支援	10名	14名
	放課後等デイサービス	20名	
	保育所等訪問支援	—	
ラソン	放課後等デイサービス	10名	4名
	保育所等訪問支援	—	
合計		390名	221名

〔旭福祉センター関係事業〕

事業所名	事業種別	定員	職員数
旭福祉センター	障害者支援施設	30名	40名
	生活介護	30名	
	就労継続支援B型	10名	
第二旭福祉センター	就労移行支援	7名	23名
	就労継続支援B型	47名	
グループホーム落穂会	共同生活援助	30名	12名
合計		154名	77名

令和2年度 あさひが丘グループ 事業計画

1. 経営理念・基本方針・行動指針

(1) 経営理念

「共生と共創」～だれもが「生まれてきてよかった」と思える共生社会を創造する～

(2) 基本方針

① エンパワメント

知的・発達障害を持つ人の基本的人権を尊重し、本人が持てる力を十分に発揮し、より豊かな人生を送ることができるよう支援する。

② 主体性尊重

利用者の主体性を尊重し、より良い意思決定ができるよう支援する。

③ フロンティア精神

社会福祉法人は地域社会のなかの重要な社会資源であることを自覚し、常に開拓的精神をもって地域福祉の向上と地域社会の発展に寄与する。

④ 安定経営

本人・家族・職員の幸福な人生に寄与するために安定した法人経営に努める。

(3) 行動指針

経営理念を実現するために、以下の行動指針に基づいて福祉サービスの提供を行う。

- ① 利用者の健やかな成長・発達と豊かな生活を願い、一人ひとりのニーズに応じたきめ細かな支援を行います。
- ② 利用者が持てる力を最大限に発揮できるよう、自立や就労につながる支援を行います。
- ③ 利用者が健康で快適な生活を送ることができるよう、常に清潔で安全な生活環境を保つように努めます。
- ④ 利用者自身の希望が実現できるよう、利用者の気持ちに寄り添いながらより良い意思決定を支援します。
- ⑤ 利用者は地域社会の一員であるという認識のもと、社会性・協調性を身につけられるよう支援し、社会参加の機会をできるだけ多く確保するよう努めます。
- ⑥ 施設は地域の中の一社会資源であるということを自覚し、地域との交流をよりいっそう深め、開かれた施設を目指し、地域福祉の向上に寄与します。
- ⑦ 職員は自らの役割と使命を自覚し、絶えず研鑽を重ね、専門的支援技術と人間力の向上に努めます。

2. 社会福祉法人落穂会 最重点目標

(1) 中期経営計画の策定

【目指す成果】中期経営計画の完成と各職員への説明の完了

昨年度立ち上げた中期経営計画策定委員会を継続し、今年度中に法人全体の中期経営計画を策定することを目標とする。昨年度定めた「経営ビジョン」に基づき、経営戦略から具体的なアクションプランまで策定し、令和3年度からの運用に向けて準備を進める。合わせて、計画が形骸化しないように、計画に対する振り返りと修正計画策定の仕組みづくりも行う事を目指す。

(2) 職員必携書「共生と共創」の自発的な行動化

【目指す成果】部署ごとに職員必携浸透の取り組み方法を確立

昨年度に引き続き、職員必携の行動化を掲げているが、将来的には、職員必携に記載されていることが無意識的に行動できるような状態を目指す。これまでは、朝礼・チーム会議・人事考課などの法人全体の取り組みを通じて職員必携と日々の仕事を接続させようとチャレンジしてきたが、今年度は、部署ごとの取り組みを通じて職員必携が自身の行動の指針となるような状態を目指す。具体的な進め方は、各部署の勤務形態や規模などを踏まえて、実態に合わせて、なるべく職員の負担がかからない方法を模索する。また、部署ごとの取り組みを組織全体で共有する機会を設ける。

(3) 地域交流の再定義と地域の課題解決への着手

【目指す成果】新たな地域交流活動への着手と意図的な地域課題解決事例づくり

これまで地域交流を行う中でみてきたのは、「地域創生のステップの見直し」である。地域の課題解決のために地域との関係性を構築し、課題を把握することを位置づけてきたが、経営理念を実現するためには、地域との関係性を構築することそのものに価値があると位置づける必要がある。利用者が地域に溶け込んで生活できるよう、地域との交流をより広く、より深いものとする取り組みを行いながら、見えてきた地域課題への解決に着手することを並行して進める。

(4) 「人が育つ」組織づくり

【目指す成果】「良いチームの基準」と「チーム作りのプロセス」の整理

「上司と部下」という1対1の育成ではなく、「人が育つチームづくり」を実現することで、チームメンバーが互いに刺激を与えながら成長できる環境をつくることを目標とする。そのために、経営幹部会議の場を中心に各部門長が自チームをどのように運営していくかについて考える機会をつくる。実際に自部署で取り組んだことを他メンバーに共有し、議論をしながら「良いチームづくり」を全員で推し進め、中期経営計画と接続することを目指す。

(5) 「個と組織を生かす」働き方改革

【目指す成果】業務効率化における現場発のアイデアの導入

働き方改革や業務の効率化の目的は、働く職員が成長し、それが法人の成長につながることである。そのためには、「思考を止めずに自らの頭で考え続ける事」が必要である。まずは、「仕方がない」「どうせ無理」という言葉を捨て、「じゃあどうするか」「こ

こからならでる」などできることに着目する姿勢を身につけることを目指す。その上で、チーム会議等の機会をつかって自分達で考えた方法を自分達起点で行動に起こしていくことを目標とする。

3. あさひが丘グループの事業

- (1) 障害児入所施設あさひが丘学園（入所28名・短期入所8名）
- (2) 障害者支援施設あさひが丘
（施設入所支援40名・生活介護94名・短期入所10名・日中一時支援）
- (3) 地域生活支援センターあさひが丘
 - ① 児童発達支援センター歩路
（児童発達支援25名・放課後等デイサービス20名・保育所等訪問支援・日中一時支援）
 - ② ワークショップあすもね（就労継続支援B型26名・生活介護9名）
 - ③ あさひが丘相談支援センター（指定一般・特定・障害児相談支援事業）
- (4) ヘルパーステーションとわ（居宅介護・行動援護・移動支援）
- (5) グループホームあさひが丘（介護サービス包括型共同生活援助8ホーム・50名）
- (6) こどもサポートセンターゆうひが丘
（児童発達支援10名・放課後等デイサービス20名・保育所等訪問支援）
- (7) ラソン（放課後等デイサービス10名・保育所等訪問支援）
- (8) ガーデンキッズセルク（児童発達支援20名・保育所等訪問支援）
- (9) ガーデンキッズトリア
（児童発達支援10名・放課後等デイサービス10名・保育所等訪問支援）
- (10) あさひが丘乗馬倶楽部「シュバル」
（放課後等デイサービス10名・保育所等訪問支援）

4. 今年度の重点目標と具体的取り組み

【重点目標】

(1) 効率的/効果的な情報共有/意見交換を行い、成果の上がるコミュニケーションをとる

① 職員必携書の「報告・連絡・相談・確認」の再徹底

「聞いていません。知りませんでした。」ではなく、「ホウレンソウカク」はお互いのコミュニケーションで成り立つものと全職員が意識し、コミュニケーションを図る。また、コミュニケーションツールとして浸透してきているグループウェア（デスクネット）の効果的な活用を目指し、使用ルールを検討する。

② 会議の質の向上

「報告」がメインの会議ではなく、会議メンバー全員が参画意識をもって積極的に建設的な意見交換を行い、決定事項を明確に出す会議を運営する。また、一週間以内に会議議事録を作成し、決定事項の進捗確認を行うことで、実効性のある会議を目指す。

(2) 働きやすい職場づくり

① 部署ごとに実態を踏まえた職場環境の整備に取り組む

令和2年1月に実施した職場風土診断を基に、自部署が抱える職場環境課題を整理し、具体的な方策を取り決め、実行する。

② 年次有給休暇の取得の推進

年次有給休暇を1人当たり年間10日以上取得することを目標とし、また、全職員が年1回以上6連休または4連休を2回以上とれるようにする。

③ 経営幹部による職員面談の実施

統括施設長が全正職員と個別面談を行う。非常勤職員については統括副施設長が担当し、各職員が抱えている課題や仕事への取り組み姿勢等についての聞き取りを行うとともに、仕事に対する意欲を高められるようにアドバイスをを行う。

(3) リスクマネジメントへの取り組みを強化する

① 非常時を想定した訓練の実施

万一の災害に備えて、実際の災害を想定したより具体的な訓練を行う。災害時に使用しやすい必要備蓄品の管理を行う。合わせて、オフィス用品・家具・家電の転落による怪我を防げるように、転倒防止の対策を行う。また、障害特性上配慮が必要な方について、継続して訓練の中で備蓄品（簡易トイレ・非常食等）を使用する機会を設け、非常時の混乱が減少するよう努める。

② ヒヤリハットの活用

ヒヤリハット報告の分析と手順を見直す。原因に対してより具体的な対策を講じられるよう集計方法、委員会委員の編成の見直しを行う。また、会議等で対策が適切であったか・活用されているか議論する場を設ける。

(4) 新事業の円滑な運営と新たな事業展開のための施設整備を行う

① 新事業所「ラソン」の運営

令和2年4月より放課後等デイサービス・保育所等訪問支援事業を行う「ラソン」を開所し、利用希望ニーズに応じていく。

② 太陽光発電装置の運用と非常用発電設備の設置

あさひが丘学園、地域生活支援センターの経費削減の一環として、太陽光発電設備の運用を開始する。また、災害時に備えて、社会福祉施設等施設整備費を活用し、あさひが丘学園に非常用発電設備の設置を行う。

③ 新たな作業棟の構想を議論する

新たな作業棟の建設について、日中活動の体制変更を含めて、開所時期や定員などを議論し、構想を固める。

④ ガーデンキッズトリアの移転

令和2年7月を目途に、ガーデンキッズトリアの移転を行い、より広いスペースで療育を行える環境をつくる。

⑤ 自立サポートあさひが丘の事業開始

令和2年4月から地域生活を支援するサービスである自立生活援助事業を開始する。

(5) 利用者の権利擁護と意思決定支援についての取り組みを推進する

① 人権侵害防止への取り組み

各事業所に虐待防止マネージャーを配置し、人権侵害防止の取り組みを推進する。

職員が人権擁護の意識を高める為に、「知的障害者施設の人権擁護ハンドブック」に記載されているチェックリストを活用する。

② 意思決定支援への取り組み

利用者が「意思表出できる環境をどう整えるか」という観点から日々の支援を見直し、部署ごとに取り組みを決め、実行する。

5. 通常の事業内容

【障害児入所施設あさひが丘学園・障害者支援施設あさひが丘】

(1) 個別支援計画について

サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者ならびにケース担当者は、相談支援事業所と連携し情報を共有する。合わせてサービス等利用計画を基に利用者のニーズとストレングスを押さえたアセスメント、モニタリングを行い個人に応じた福祉サービスが適切に提供できるように個別支援計画を作成する。また作成された個別支援計画は、利用者本人、ご家族等に説明をおこない同意を得た後に交付を行う。

(2) 日常生活支援

【児童部】

① 生活グループ形態

小規模ユニットケア A、B、C、Dの1ユニット7名、4ユニット計28名。
家庭を離れて施設生活を送る子ども達が自信をもって自立していけるようにその基盤となる愛着形成・信頼関係の構築、自己肯定感を形成できるように支援する。

(編成については別紙参照)

- ② 子ども達が健康で快適な生活を送ることができるよう、安全で清潔な環境づくりに努める。また、子ども達個々の生活スタイルを尊重するよう配慮する。
- ③ 子ども達が常に清潔な服装を身につけ、また、髪、爪、髭等の整容への支援を適切に行うことにより、子ども達の身だしなみが整うよう支援する。
- ④ 虫歯や歯肉炎の治療、歯石除去、毎食後の歯磨き等を確実に行うことにより、口腔内の状態を清潔に保つ。
- ⑤ 社会的自立の基礎となる基本的な生活習慣の確立を目指し、日々の生活で子ども達個々の発達レベルに応じた日常生活動作訓練を行う。また、生活の中で生活必需品の購入や外食の機会を設け、経験を積む場を増やせるよう支援する。
- ⑥ 自治会の活動がより活発なものになり、子ども達主体で運営され責任感や協調性、達成感を感じる場となるように活動支援を行う。
- ⑦ 子ども達の趣味・嗜好に応じた居室作りを行い、居室での生活が快適に過ごせるように支援する。
- ⑧ 子ども達・職員が協力し、日々の生活の中でユニット内（生活空間）の美化、居室の整理整頓に努める。また、必要に応じて消臭・消毒機を使用し、居室・洗面所・トイレ等の消臭や感染症に対する消毒を行い、生活空間を衛生的に保つ。
- ⑨ 子ども達の健康状態に合わせた食事提供や楽しい雰囲気でおいしい食事がとれるような環境づくりを行う。また、子ども達の希望に応じた外食・調理実習を定期的に行う。

【成人部】

① 生活グループ形態

1寮、2寮、3寮の3グループ計40名に分かれ、日常生活支援を行う。

(生活棟の編成については別紙参照)

利用者に関わる時間を大切にし、利用者の要望や思いにしっかりと耳を傾け、一人ひとりの思いを尊重しながら、上質な暮らしが営めるようていねいに支援する。

- ② 利用者が常に清潔な服装を身につけ、また、髪、爪、髭等の整容への支援を適切に行うことにより、利用者の身だしなみが整うよう支援する。
- ③ 虫歯や歯肉炎の治療、歯石除去、毎食後の歯磨き等を確実にを行い、口腔内の状態を清潔に保つ。

- ④ 利用者自治会の活動がより活発なものになるように、また、利用者の希望、要望をできるだけ取り入れられるよう活動支援を行う。
- ⑤ 利用者が健康で、快適な生活を送ることができるよう、清潔な環境づくりに努める。各居室は、利用者がくつろげる空間となるように利用者個々の趣味・嗜好に応じた居室作りを行う。
- ⑥ 清掃業務員と連携し、棟内の美化、居室の整理整頓に努める。また、消臭・消毒機を適宜使用し、居室・洗面所・トイレ等の消臭や感染症に対する消毒を行い、生活スペースを衛生的に保つ。
- ⑦ 食事については嗜好調査を実施し、利用者のニーズを把握する。また ST 他、関係職種と連携を図りながら摂食実態表、栄養ケアマネジメントを活用し利用者一人ひとりに適した食事形態での提供、自助食器の使用を行う。またおいしく食事が摂れるような環境づくりを行う。
- ⑧ 成人女性利用者のお化粧を行う。お化粧から1日を始め、一人一人が輝くように美しく生き生きとした笑顔でスタートできる様にサポートする。また、お化粧を通して利用者とのコミュニケーションを図りながら健康状態の把握を行う。

(3) 日中活動支援（生活介護事業）

- ① 成人部入所・通所者および児童部在園者（学校卒業生）は、生活介護・生産活動系（日中1科）、生活介護・創作系（日中2科）、生活介護・療育系（日中3科）、生活介護・リハビリ系（日中4科、5科）の5グループに分かれ、それぞれ目的に応じた日中活動プログラムを実施する。（日中活動の内容、担当者、編成等については別紙参照）
- ② 保護者に対して日中活動参観を年1回実施する。活動の様子を実際に見て体験してもらうことに合わせ、写真や映像等を活用し、参観で見ることのできない活動の様子についても説明するなどして内容の充実を図る。
- ③ 利用者一人ひとりの活動の幅を広げる。新たな創作・芸術活動への取り組みや各活動科間で交流体験の機会を設け、新しい活動の体験や個々の能力を引き出せるように支援する。
- ④ 余暇活動の充実を図る。引き続き、生活介護利用者全員に対して、ワンデイ外出とランチ外出を実施する。また、科ごとの全体外出も定期的にも実施し、楽しみを持ちながら活動展開が出来る環境を整える。
- ⑤ 全体での取り組みとして運動プログラムを毎週金曜日に実施する。また、入浴も週に1回実施し、心身のリラックスを図る。運動においては、これまで理学療法士に受けた指導を基に個別のリハビリにも力を入れ、楽しむ中で適度な運動を確保し、身体機能の維持・向上を図る。
- ⑥ 外部講師による音楽療法（週2回）、アニマルセラピー（週1回）を実施する。
- ⑦ 乗馬療法の充実を図る。本人・保護者のニーズを把握し、シュバルと連携して確実な実施を目指す。また、希望者以外も定期的なふれあいが実施できるようプログラムを作成する。
- ⑧ 日中活動と地域交流委員会で連携し、地域や一般の方との交流を図れる機会（陶芸や創作活動のワークショップ等）を年3回（秋まつり含む）実施する。
- ⑨ 服薬、交通安全については、決められた手順を守り事故がないように確実に実施する。
- ⑩ 送迎車両を5ルートに分けて運行する。出発前後の点検を確実に実施し、安全運行に努める。また、運転者、添乗者は連携を図り、乗せ間違い等がないよう留意する。

(4) 余暇活動支援

【児童部】

- ① 子ども達の生活に潤いや楽しみを持たせるため、日常的な買い物外出（日用品・調理）定期的な季節行事・外食の機会を設ける。
- ② 自治会等を通じて、子ども達一人ひとりニーズを把握し余暇の計画・提供を行う。また、子ども達が自主的に余暇（空いた時間）時間を過ごせるよう日々の生活の中で支援を行う
- ③ 外出の際、可能な範囲で公共交通機関を利用する機会を設ける。余暇の中にも退所後の生活を見据え、子ども達が必要な経験を積めるよう支援する。

【成人部】

- ① 利用者の生活に潤いや楽しみが持てるように一人ひとりのニーズや年齢に応じた行事を計画的に実施する。また日中活動及び寮ごとに個人又は小グループの余暇外出を実施する。
- ② 利用者自治会等を通じて、情報提供や意見交換を行い、利用者の意向を生活に反映できるように努める。

(5) 健康・衛生に関する支援

- ① 利用者の検温を、1日2回、朝・夕に行い体調把握に努める。
- ② 嘱託医診療（内科・精神）を月1回実施し、利用者の健康管理に努める。
- ③ 内科健診（年2回）を実施する。18歳以上（高等部卒業）の利用者については、生活習慣病等に対して適切に対応するために健康診断（胸部レントゲン・心電図・採血・身長・体重・腹囲・視力・聴力・内診）を実施する。
- ④ 口腔保健センターの協力を得て、歯科治療、歯科検診を実施する。
- ⑤ やまびこ医療センター（歯科）の協力を得て、年3回でブラッシング指導を実施する。
- ⑥ 抗てんかん薬服用者の脳波検査（年1回）・血液検査（年2回）を実施する。
- ⑦ 精神安定剤服用者は、精神科医と十分に連携を保ち情緒・行動の安定を図る。
- ⑧ 入浴は毎日行い、清潔を保つ。また、皮膚科の指示軟膏がある場合は、軟膏を塗布する。
- ⑨ 定期的に身長・体重測定を行い、必要に応じてバイタルサイン測定を行う。
- ⑩ 利用者の健康保持・増進に資するため、主に生活介護のプログラムを活用し体操、ウォーキング、リハビリテーション等を適宜行う。
- ⑪ 月1回程度、理美容を実施する。地域の理美容店に行けない利用者については、訪問理容・動く散髪屋（月1回）を活用して散髪を行う。
- ⑫ 健康管理マニュアル・与薬管理マニュアルを活用し、誤与薬を防止する。
- ⑬ 健康管理記録票の活用により、利用者の健康管理に関するデータを整理する。
- ⑭ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症に対しては、感染症対策マニュアルを活用し適切に対応する。
- ⑮ 排泄については、自然排便への取り組み（乳製品飲料・食物繊維・十分な水分量の確保などの食事面と腹部マッサージ・運動量の確保）を行なう。便秘・イレウス傾向の利用者は、医療機関との連携も図り、予防に努める。

(6) 地域生活支援

- ① 短期入所事業の実施（児童：定員8名、成人：定員10名）
- ② 日中一時支援事業の実施

(7) 自立生活支援

- ① 児童部に在籍する入所者については、20歳までには次の生活の場に送り出せるよう、退所後の生活を見据えた一人ひとりに応じたライフスタイルを提案し地域生活や障害者支援施設等への移行を図る。移行に際しては本人、家族との個別面談や施設見学等を実施する。スムーズに移行できるよう支援する為に、支給決定機関である出身市町村、相談支援事業所、他関係機関との連携を図る。
- ② 児童部に在籍する入所者のうち、特別支援学校高等部生について、入学と同時に本人や保護者の意向を確認したうえで進路検討会を実施し、学校・児童相談所とも意見交換の場を持ちながら卒業後の進路選択についての支援を行う。

【地域生活支援センターあさひが丘】

(1) 児童発達支援センター歩路

<児童発達支援 歩路>

- ① 活動を通して、友だちとのかかわりや社会性・ルールを身につけられるように支援を行う。
- ② 幼稚園、保育園への就園を見据えた支援、また併行通園児においては幼稚園、保育園生活の充実に向けて、集団適応、運動機能能の向上、情緒の安定、日常生活動作等の自立を目指し、発達段階に応じた支援、保護者へのアドバイスを行う。
- ③ 新版K式発達検査2001、国リハ式〈S-S法〉言語発達遅滞検査、PVT-R絵画語い発達検査等によるアセスメントを行い、発達段階を正確に把握し個別支援計画に基づいた適切な療育を行う。
- ④ 保護者会（年2回）、個別相談会（年1回）、ペアレント・プログラム（6回コース）、保護者職員懇親会（年1回）等を実施し、保護者が子どもの発達段階を認識し子育てに前向きになれるよう、子どもへの関わり方についてのアドバイス等を行う。また、きょうだい児支援会（年1回）を通して、きょうだい児が主役となる機会を作り、家族支援の充実を図る。
- ⑤ 保健センターで開催される総合発達相談会や、すくすく親子教室・わくわく親子教室への参加を通して、地域で療育を必要としている子どもの支援を充実させる。
- ⑥ 公開療育および関係機関（幼稚園、保育園、学校、他事業所）との研修会（年3回）を開催し、児童発達支援センターとして療育内容の充実を図り、地域の児童発達支援事業所の療育スキルの向上、関係機関との連携に努める。
- ⑦ 保護者・家族の生活状況について、可能な限り把握に努め、好ましくない生活状況に対しては、家庭訪問等を通して家族支援を行い、児童虐待防止に努める。
- ⑧ 児童発達支援ガイドラインに基づき、年1回保護者へのアンケート調査と事業所職員による自己評価を実施し、評価結果をホームページにて公表する。
- ⑨ 情報共有アプリ（コドモン）を活用し、家庭や療育時の様子について保護者と情報を共有する。また歩路だよりや各種お知らせ等も情報共有アプリにて配信する。

<放課後等デイサービス 我路>

- ① 利用者の地域における生活が安定して継続できることを念頭に置いて、活動を通して友だちとのかかわりや基本的な生活習慣に関する日常生活面の支援（SST）を行う。また、利用者の希望により宿題の時間を設ける。
- ② 可能な範囲でご家族の希望に応じ、拠点を決めて帰りの送迎車を運行する。
- ③ 年齢と発達段階を考慮して3～4クラスに分けて、療育的な要素を取り入れたより質の高いプログラムを展開する。

- ④ 保護者会（年2回）、個別相談会（年1回）、ペアレント・プログラム（6回コース）、保護者職員懇親会（年1回）等を実施し、保護者が子どもの発達段階を認識し子育てに前向きになれるよう、子どもへの関わり方についてのアドバイス等を行う。また、きょうだい児支援会（年1回）を通して、きょうだい児が主役となる機会を作り、家族支援の充実を図る。
- ⑤ 放課後等デイサービスガイドラインに基づき、年1回保護者へのアンケート調査と自己評価を実施し、評価結果をホームページで公表する。
- ⑥ ASIST学校適応スキルプロフィール、WISC-IV、新式K式発達検査2001等によるアセスメントを行い、発達段階を正確に把握し、個別支援計画に基づいた適切な支援を行う。
- ⑦ 情報共有アプリ（コドモン）を活用し、家庭や支援時の様子について保護者と情報を共有する。また、我路だよりや各種お知らせ等も情報共有アプリにて配布する。
- ⑧ 関係機関（幼稚園、保育園、学校、他事業所）との研修会（年3回）を実施し、地域との連携を図り、支援の質の向上に努め子どもたちの学校生活をサポートする。

<放課後等デイサービス シュバル>

- ① 基本的に小学生を対象とし、ご家族および本人の希望を確認して引き馬やふれあい活動、馬のお世話を通して情緒の安定や体幹の強化などを目的とした活動を中心にサービスを提供する。また日々の利用状況によっては、保護者および利用者本人の意向を確認のうえ、中学生以上の利用を受け入れ、我路と併行して活動を行う。
- ② 可能な範囲でご家族の希望に応じ、拠点を決めて帰りの送迎を行う。
- ③ 保護者会（年2回）、個別相談会（年1回）、ペアレント・プログラム（6回コース）、保護者職員懇親会（年1回）等を実施し、保護者が子どもの発達段階を認識し子育てに前向きになれるよう、子どもへの関わり方についてのアドバイス等を行う。また、きょうだい児支援会（年1回）を通して、きょうだい児が主役となる機会を作り、家族支援の充実を図る。
- ④ 放課後等デイサービスガイドラインに基づき、年1回保護者へのアンケート調査と自己評価を実施し、評価結果をホームページで公表する。
- ⑤ ASIST学校適応スキルプロフィール、WISC-IV、新式K式発達検査2001等によるアセスメントを行い、発達段階を正確に把握し、個別支援計画に基づいた適切な支援を行う。
- ⑥ 情報共有アプリ（コドモン）を活用し、家庭や支援時の様子について保護者と情報を共有する。また、シュバルだよりや各種お知らせ等も情報共有アプリにて配布する。
- ⑦ 関係機関（幼稚園、保育園、学校、他事業所）との研修会（年3回）を実施し、地域との連携を図り、支援の質の向上に努め子どもたちの学校生活をサポートする。
- ⑧ 公開療育の実施と共に、他事業所の公開療育へ参加を行うことで地域の放課後等デイサービス事業所の取り組みを相互に学び、地域の放課後等デイサービス事業所および自事業所のサービスの質の向上を図る。

<保育所等訪問支援 歩路・我路・シュバル>

利用者が併行して通う保育園、幼稚園、学校、利用者が生活している児童福祉施設等と連携をとり、療育の充実を図る。特に、放課後等デイサービスにおいては各学校との連絡を密に行い、保育所等訪問事業による学校訪問を積極的に実施して学校担任との利用者支援の状態像や支援方法について認識を共有する。

(2) ワークショップあすもね（就労継続支援 B 型・生活介護）

<就労継続支援 B 型>

- ① 就労を目指す利用者を対象に、請負作業をはじめ、施設外就労の機会を提供し、働く喜びから、「仕事」に対しての意欲を高められるよう支援の充実を図る。また、一般就労を目指す利用者に対しての就労支援を確実に進められるよう、職員間の支援目的を明確にし、知識の習得を図る。
- ② 内職・請負業務（菓子作業や箱折り、建設資材の組み立てやチラシ封入等）や屋外業務（リサイクル回収作業・みかん園管理・地域センター清掃・給食配達）、施設外就労（有料老人ホーム清掃・公園清掃・飲料運搬・墓地清掃）等を実施し、毎月、工賃を支給する。みかん園管理については、あさひが丘生活介護（日中1科）、あすもね（就労継続支援B型・生活介護）との共同運営とする。
- ③ 作業種の拡大を図り、利用者の意欲向上を図ると共に、毎月平均18,000円以上の工賃支給を目指す。
- ④ リサイクル回収作業やみかん販売の販路拡大を行い、地域交流の機会を得ると共に、地域住民から草刈等の要望等があれば、積極的に取り組む。
- ⑤ 年1回の日中活動参観を実施し、作業を見学する機会や、保護者との交流の機会を持つ。また年1回の個別相談の期間を設け、本人、家族の要望等を確認し支援内容の充実を図る。（生活介護も同様とする）

<生活介護>

- ① ADLや情緒面、健康面、行動面等の支援を必要としている利用者を対象に、各利用者の状態に合わせたきめ細かな支援を行い、利用者が「安心」「安全」に日中を過ごすよう支援する。
- ② 日中の活動においては、みかん園での作業を中心に、請負作業や生産活動に取り組む機会を設け、働く喜びを感じられるよう支援する。
- ③ 毎月、取り組み状況に応じた工賃を支給する。
- ④ 月に1回、余暇活動の時間を設け、楽しみや日中活動への意欲へつなげる。

(3) ヘルパーステーションとわ

居宅介護・行動援護・移動支援サービスを通して、利用者・家族の要望に基づき、地域生活を継続できるよう支援する。特に行動援護サービスについては、強度行動障害支援者養成研修を受講してサービス提供を行う。

<居宅介護>

- ① 家事援助として、地域で生活している利用者の生活を支えるため、家事の方法やアドバイスを行い、自立に向けた支援を行う。また必要に応じて本人を含む家族が安心して地域生活が送れるよう関係機関との情報共有を行う。
- ② 通院等介助として、グループホーム利用者を中心に安全な通院と的確な受診ができるよう支援し、健康維持に繋げる。またグループホーム担当者を中心に関係機関と連携をとり、情報共有に努める。

<行動援護>

行動上著しい困難を有する利用者を対象に外出支援等、利用者・保護者が希望する

プラン（プールや温泉、公園散策等）を作成し、充実した時間が過ごせるよう支援する。また支援に当たっては支援計画シート及び支援手順書・記録用紙を作成してサービス提供を行う。

<移動支援>

利用者・保護者の要望に応じて、外出時の支援（通院・市役所等での手続き・買い物・公共交通機関、公共施設の利用等）を行い、充実した余暇の提供や自立に向けた支援を行う。

(4) グループホームあさひが丘（介護サービス包括型共同生活援助事業）

花梨（女性5名）・つばさ丸（男性5名）・くるみ（女性4名）・二郎丸（男性8名）・ももか（女性6名）・とんぼ丸（男性8名）・朝陽丸（男性7名）・夕陽丸（男性7名）計50名。

- ① 自立を目指し、地域の中で家庭的な雰囲気のもと、上質でいいいな日々の暮らしが営めるよう、一人ひとりの障害特性や心身の状態に合わせて、健康管理面のサポートや食事の提供・日常的な相談その他の生活上の支援を行う。
- ② 就労先や福祉サービス事業所などの関係機関と連携を図り、利用者のニーズに応じた支援を行う。
- ③ 地域住民にグループホーム利用者について理解を深めてもらうため、地域との交流を促進してきているが、今後も継続して各ホームが所属する地区の常会や行事に積極的に参加し、利用者・職員と地域住民が名前呼び合えるような関係づくりを促進し、地域のニーズを把握できるように努める。
- ④ 5月に保護者会を実施し年間行事計画等の説明を行う。また個別相談を年1回（8月）実施し、本人や家族の要望等を確認し、支援の充実を図る。
- ⑤ 利用者がグループホームでの生活を通じて、自立度を上げられるような支援を心掛け、自己決定に基づいて主体的な生活を営むことができるような働きかけを行う。

(5) あさひが丘相談支援センター

障害福祉サービスを利用する方にサービス開始前から関わり、利用したいサービスの説明やサービス等利用計画の作成、定期的なモニタリングを実施する。また希望する生活を支えるため、鹿児島市自立支援協議会やKGSNが主催する全体研修会に参加し、関係機関とのネットワークづくりに努める。加えて鹿児島圏域の運営委員として圏域研修会を実施し、相談支援専門員としての専門性の向上を図る。

<障害児相談支援>

障害児が障害児通所支援（児童発達支援や放課後等デイサービス等）を利用する際に、障害児支援利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行い、ライフステージに応じたつながる支援を実施する。

<特定相談支援>

障害児者が、障害福祉サービスを利用する際に、サービス等利用計画の作成、一定期間ごとにモニタリングを実施し、障害福祉サービスを継続して利用できるよう支援する。

<一般相談支援>

施設や病院に長期入所していた方が地域での生活に移行するために、「地域移行支援」や「地域定着支援」を行い、住居の確保や新生活の準備等の支援、居宅で一人暮らしをしている者について、夜間も含む緊急時における連絡、相談等の支援を必要に応じて行う。

<生活困窮者支援>

NPO 法人かごしまホームレス生活者支えあう会、NPO 法人やどかりサポート鹿児島に相談支援専門員を週2回派遣し、必要に応じて関係機関と連携を図りながら支援を行う。鹿児島県社会福祉法人経営者協議会が実施する「かごしまおもいやりネットワーク事業」に参画する。

【こどもサポートセンターゆうひが丘】

<児童発達支援 希路>

- ① 活動や遊びを通して、友だちとの関わりや社会性・ルールを身に付けられるように療育を行う。
- ② 幼稚園、保育園への就園を見据えた支援、また併行通園児においては幼稚園、保育園生活の充実に向けて、集団適応、運動機能の向上、情緒の安定、日常生活動作等の自立を目指し、発達段階に応じた療育や保護者へのアドバイスを行う。
- ③ 新版K式発達検査2001、国リハ式〈S-S法〉言語発達遅滞検査、PVT-R絵画語い発達検査等によるアセスメントを行い、発達段階を正確に把握し個別支援計画に基づいた適切な療育を行う。
- ④ 保護者会（年2回）、個別相談会（年1回）、ペアレント・プログラム（6回コース）、保護者職員懇親会（年1回）等を通し、保護者が子どもの発達段階を認識し、子育てに前向きになれるよう、子どもへの関り方についてのアドバイス等を行う。また、きょうだい児支援会（年1回）を通して、きょうだい児が主役となる機会を作り、家族支援の充実を図る。
- ⑤ 保健センターで開催される総合発達相談会や、すくすく親子教室・わくわく親子教室への参加を通して、地域で療育を必要としている子どもへの支援を充実させる。
- ⑥ 関係機関（幼稚園、保育園、学校、他事業所）との研修会（年3回）を実施し、地域の関係機関との連携を図り、療育の質の向上に努め、子どもたちの幼稚園・保育園生活をサポートする。
- ⑦ 児童発達支援ガイドラインに基づき、年1回保護者へのアンケート調査と事業所職員による自己評価を実施し、評価結果をホームページにて公表する。
- ⑧ 公開療育の実施と共に、他事業所の公開療育への参加を行うことで、地域の児童発達支援事業所の取り組みを相互に学び、地域の療育機関、自事業所の質の向上を図る。
- ⑨ 情報共有アプリ（コドモン）を活用し、家庭や療育時の様子について保護者と情報を共有する。また希路だよりや各種お知らせ等も情報共有アプリにて配信する。

<放課後等デイサービス ニポポ>

- ① 可能な限り利用者の希望に応じて利用日を固定し、4クラス体制で支援を行う。
- ② 個々に応じた支援を行い、学校生活のサポートの場となるよう努める。
- ③ 活動を通して社会性やマナーを学び、集団の中で良好なコミュニケーション力を身に付けられるよう支援を行う。
- ④ WISC-IV、新版K式発達検査2001等によるアセスメントを行い、発達段階を正確に把握し、個別支援計画に基づいた適切な支援を行う。
- ⑤ 保護者会（年2回）、個別相談会（年1回）、ペアレント・プログラム（6回コース）、保護者職員懇親会（年1回）等を実施し、保護者が子どもの発達段階を認識し子育てに前向きになれるよう、子どもへの関わり方についてのアドバイス等を行う。また、きょうだい児支援会（年1回）を通して、きょうだい児が主役となる機会を作り、家族支援の充実を図る。
- ⑥ 放課後等デイサービスガイドラインに基づき、年1回保護者へのアンケート調査と事業所職員による自己評価を実施し、評価結果をホームページにて公表する。
- ⑦ 関係機関（幼稚園、保育園、学校、他事業所）との研修会（年3回）を実施し、地域の関係機関との連携を図り、支援の質の向上に努め、子どもたちの学校生活をサポートする。
- ⑧ 情報共有アプリ（コドモン）を活用し、家庭や支援時の様子について保護者と情報を共有する。またニポポだよりや各種お知らせ等も情報共有アプリにて配信する。

<保育所等訪問支援>

利用者が併行して通う保育園、幼稚園、学校、利用者が生活している児童福祉施設等と連携をとり、療育の充実を図る。特に、放課後等デイサービスにおいては各学校との連絡を密に行い、保育所等訪問事業による学校訪問を積極的に実施して学校担任との利用者支援の状態像や支援方法について認識を共有する。

【放課後等デイサービス ラソン】

<放課後等デイサービス>

- ① 可能な限り利用者の希望に応じて利用日を固定し、2クラス体制で支援を行う。
- ② 個々に応じた支援を行い、学校生活のサポートの場となるよう努める。
- ③ 活動を通して社会性やマナーを学び、集団の中で良好なコミュニケーション力を身に付けられるよう支援を行う。
- ④ WISC-IV、新版K式発達検査2001等によるアセスメントを行い、発達段階を正確に把握し、個別支援計画に基づいた適切な支援を行う。
- ⑤ 保護者会（年2回）、個別相談会（年1回）、ペアレント・プログラム（6回コース）、保護者職員懇親会（年1回）等を実施し、保護者が子どもの発達段階を認識し子育てに前向きになれるよう、子どもへの関わり方についてのアドバイス等を行う。また、きょうだい児支援会（年1回）を通して、きょうだい児が主役となる機会を作り、家族支援の充実を図る。
- ⑥ 放課後等デイサービスガイドラインに基づき、年1回保護者へのアンケート調査と事業所職員による自己評価を実施し、評価結果をホームページにて公表する。
- ⑦ 関係機関（幼稚園、保育園、学校、他事業所）との研修会（年3回）を実施し、地域の関係機関との連携を図り、支援の質の向上に努め、子どもたちの学校生活をサポートする。

<保育所等訪問支援>

利用者が併行して通う保育園、幼稚園、学校、利用者が生活している児童福祉施設等と連携をとり、療育の充実を図る。特に、放課後等デイサービスにおいては各学校との連絡を密に行い、保育所等訪問事業による学校訪問を積極的に実施して学校担任との利用者支援の状態像や支援方法について認識を共有する。

【ガーデンキッズセルク・トリア】

(1) ガーデンキッズセルク

<児童発達支援>

- ① 活動や遊びを通して、友だちとの関わりや社会性・ルールを身に付けられるように支援を行う。
- ② 幼稚園、保育園への就園を見据えた支援、また、併行通園児においては幼稚園、保育園生活の充実に向けて、集団適応、運動機能の向上、情緒の安定、日常生活動作の自立等を目指し、発達段階に応じた支援、保護者へのアドバイスを行う。
- ③ 新版K式発達検査2001、国リハ式〈S-S法〉言語発達遅滞検査、PVT-R絵画語い発達検査等によるアセスメントを行い、発達段階を正確に把握し、個別支援計画に基づいて、個々に応じたていねいな支援を行う。
- ④ 保護者会（年2回）、個別相談会（年1回）、ペアレント・プログラム（6回コース）、保護者職員懇親会（年1回）等を実施し、保護者が子どもの発達段階を認識し、子育てに前向きになれるよう、子どもへの関わり方についてのアドバイスを行う。また、きょうだい児支援会（年1回）を通して、きょうだい児が主役となる機会を作り、家族支援の充実を図る。
- ⑤ 保健センターで開催される総合発達相談会やすすく親子教室、わくわく親子教室への参加を通して、地域で療育を必要としている子どもへの支援を充実させる。
- ⑥ 関係機関（幼稚園、保育園、学校、他事業所）との研修会（年3回）を実施し、地域の関係機関との連携を図り、療育の質の向上に努め、子どもたちの幼稚園・保育園生活をサポートする。
- ⑦ 児童発達支援ガイドラインに基づき、年1回保護者へのアンケート調査と事業所職員による自己評価を実施し、評価結果をホームページにて公表する。
- ⑧ 公開療育の実施と共に、他事業所の公開療育への参加を行うことで、地域の児童発達支援事業所の取り組みを相互に学び、地域の療育機関、自事業所の質の向上を図る。
- ⑨ マルヤガーデンズと連携を図り、ペアレント・プログラム（6回コース）等を実施し、地域で子育てにサポートを必要としている方への支援を充実させる。

<保育所等訪問支援>

保護者の要望、または必要に応じて、利用者が併行して通う保育園、幼稚園等への訪問、担任教諭との情報交換等を行い、利用者の状態像や支援方法における共通理解を図ると共に、関係機関との連携を図り、地域での統一した支援、療育の更なる充実を目指す。

(2) ガーデンキッズトリア

<児童発達支援>

- ① 活動や遊びを通して、友だちとの関わりや社会性・ルールを身に付けられるように支

援を行う。

- ② 幼稚園、保育園への就園を見据えた支援、また、併行通園児においては幼稚園、保育園生活の充実に向けて、集団適応、運動機能の向上、情緒の安定、日常生活動作の自立等を目指し、発達段階に応じた支援、保護者へのアドバイスをを行う。
- ③ 新版K式発達検査2001、国リハ式〈S-S法〉言語発達遅滞検査、PVT-R絵画語い発達検査等によるアセスメントを行い、発達段階を正確に把握し、個別支援計画に基づいて、個々に応じたていねいな支援を行う。
- ④ 保護者会（年2回）、個別相談会（年1回）、ペアレント・プログラム（6回コース）、保護者職員懇親会（年1回）等を実施し、保護者が子どもの発達段階を認識し子育てに前向きになれるよう、子どもへの関わり方についてのアドバイスをを行う。また、兄弟児支援会（年1回）を通して、きょうだい児が主役となる機会を作り、家庭支援の充実を図る。
- ⑤ 保健センターで開催される総合発達相談会やすくすく親子教室、わくわく親子教室への参加を通して、地域で療育を必要としている子どもへの支援を充実させる。
- ⑥ 関係機関（幼稚園、保育園、学校、他事業所）との研修会（年3回）を実施し、地域の関係機関との連携を図り、療育の質の向上に努め、子どもたちの幼稚園・保育園生活をサポートする。
- ⑦ 児童発達支援ガイドラインに基づき、年1回保護者へのアンケート調査と事業所職員による自己評価を実施し、評価結果をホームページにて公表する。
- ⑧ 公開療育の実施と共に、他事業所の公開療育への参加を行うことで、地域の児童発達支援事業所の取り組みを相互に学び、地域の療育機関、自事業所の質の向上を図る。
- ⑨ マルヤガーデンズと連携を図り、ペアレント・プログラム（6回コース）等を実施し、地域で子育てにサポートを必要としている方への支援を充実させる。

<保育所等訪問支援>

利用者が併行して通う保育園、幼稚園、学校、利用者が生活している児童福祉施設等と連携をとり、療育の充実を図る。特に、放課後等デイサービスにおいては各学校との連絡を密に行い、保育所等訪問事業による学校訪問を積極的に実施して学校担任との利用者支援の状態像や支援方法について認識を共有する。

<放課後等デイサービス ピッコロ>

- ① 可能な限り利用者の希望に応じて利用曜日を固定し、安定したグルーピングを行う。
- ② 個々に応じた支援を行い、学校生活のサポートの場となるよう努める。
- ③ 活動を通して社会性やマナーを学び、集団の中で良好なコミュニケーション力を身に付けられるよう支援を行う。
- ④ WISC-IV、新版K式発達検査2001によるアセスメントを行い、発達段階を正確に把握し、個別支援計画に基づいて、個々に応じたていねいな支援を行う。
- ⑤ 保護者会（年2回）、個別相談会（年1回）、ペアレント・プログラム（6回コース）、保護者職員懇親会（年1回）を実施し、保護者が子どもの発達段階を認識し子育てに前向きになれるよう、子どもへの関わり方についてのアドバイスをを行う。また、きょうだい児支援会（年1回）を通して、きょうだい児が主役となる機会を作り、家族支援の充実を図る。
- ⑥ 放課後等デイサービスガイドラインに基づき、年1回保護者へのアンケート調査と事業所職員による自己評価を実施し、評価結果をホームページにて公表する。
- ⑦ 関係機関（幼稚園、保育園、学校、他事業所）との研修会（年3回）を実施し、地域の関係機関との連携を図り、支援の質の向上に努め、子どもたちの学校生活をサポート

する。

- ⑧ マルヤガーデンズと連携を図り、ペアレント・プログラム（6回コース）等を実施し、地域で子育てにサポートを必要としている方への支援を充実させる。

【あさひが丘乗馬倶楽部 シュバル】

- ① 地域センターへの連絡体制を強化・充実させることで各事業所間の連携を図り、協力して乗馬倶楽部の利用拡充に努める。
- ② 人馬共に、事故怪我がないよう安全に活動を展開する為に、担当職員の乗馬、馬扱いのスキル向上を目指す。
- ③ 安定した乗馬療法を行えるように、馬の調教をすすめる。また利用者個々の乗馬療法プログラムを確立する。
- ④ 各事業所と連携し、協力してシュバルの安定した利用に繋げる。
- ⑤ ホースセラピーや一般乗馬等、乗馬倶楽部の拡充に努め、安定経営を図る。
- ⑥ あすもねと協力して馬場や周辺の環境整備に努める。
- ⑦ 地域の行事・イベントに積極的に参加・協力し、地域社会貢献に努める。
- ⑧ 第二回乗馬倶楽部シュバルホースフェスタを開催し、競技内容や参加者枠を拡げてより多くのひとが楽しめるように企画・案内を行う。

6. 職員の職務内容について

(1) 職員体制

令和2年4月1日現在

	施設長	サビ管	支援員	保育士	看護師	栄養士	専門職	事務員	業務員	嘱託医	計
あさひが丘学園	1	1	10	8	1	1		1		2	21
あさひが丘		2	56 (2)		1			3	4		68 (2)
歩路・我路	1 (兼務)	2	9	8 (1)	1 (兼務)	1	5	1	4		32 (1)
あすもね		1	9		1 (兼務)			1			11
相談支援			6								6
シュバル		1	4	1			1				7
グループホーム	1 (兼務)	2	30					2			34
とわ		1	1								2
ゆうひが丘	1 (兼務)	2	2 (1)	7 (1)			5 (兼務)	1			12 (2)
ラソン	1 (兼務)	1	2	1							4
セルク	1 (兼務)	1	2 (1)	4				1			8 (1)
トリア		2	5 (1)	2							9 (1)
計(実数)	2	16	134 (139)	31 (33)	3	2	6	10	8		214 (221)

*上表は、各職種の所属別（あさひが丘学園、あさひが丘、歩路・我路、とわ、グループホーム、あすもね、相談支援、シュバル、ゆうひが丘、ラソン、セルク、トリア）の員数を示したもので、サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者は、あさひが丘学園（児童部

支援課長)、あさひが丘(成人部支援課長・日中2科チーフ)、歩路・我路(歩路クラスリーダー・我路チーフ)、グループホーム(グループホーム支援課長・グループホームチーフ)、あすもね(就労支援課長)、シュバル(放課後デイ支援課長)、ゆうひが丘(ゆうひが丘統括主任・チーフ)セルク(セルクチーフ)、トリア(ガーデンキッズ支援課長・児童指導員)が当たる。

* 専門職は、公認心理師、言語聴覚士、理学療法士、乗馬インストラクター、教育相談員
* ()内の数字は産休・育休などの休職中の職員数を示す。

(2) 計画書および記録について

- ① 各チーム年間活動計画
- ② 個別支援計画関連書式
(フェイスシート・アセスメントシート・個別支援計画書・モニタリング記録)
- ③ 日誌(事務日誌、一般日誌、看護衛生日誌)
- ④ ケース記録
- ⑤ 作業能力評価表(あすもね)
- ⑥ 家庭通信
- ⑦ 各種報告書(職員会議・チーフ会議・チーム会議・委員会・研修・事故・所在不明・ヒヤリハット・行事・避難訓練他)
- ⑧ 人事評価に関する提出書類(人事評価表・新任職員行動チェックリスト)

(3) 会議等

- ① 職員朝礼 毎日(引き継ぎ)
- ② 職員会議 毎月1回(参加は任意とし、4月・8月は開催しない)
- ③ チーフ会議 2ヶ月に1回
- ④ チーム会議 2ヶ月に1回
- ⑤ 各委員会会議 定例開催、随時開催→別紙「委員会体制」
- ⑥ ケース会議 支援内容に変更もしくは変更が想定される場合随時開催

(4) 職員研修・人事考課制度・人材育成について

- ① 日本・九州・鹿児島各知的障害者福祉協会主催の各種研修会及びその他の研修会に積極的に参加する。外部研修に参加した職員は、職員会議で研修内容についての報告を行う。
- ② 通信教育、資格取得等の自主研修に積極的に取り組む。日本知的障害者福祉協会が行う「知的障害援助専門員養成通信教育」の受講者には、受講奨励金を交付し、通信教育の受講を奨励する。
- ③ 園内研修を職員会議時に実施する。園内研修は人権擁護・衛生管理など日々の支援を行う上で重要なテーマに関する研修と職員自らが手を挙げて行う「実践報告」のいずれかとする。また、職員会議に出席できない職員への資料配布とガーデンキッズ職員へはインターネットを活用し研修を受講できるよう配慮する。
(研修内容については別紙参照)
- ④ テーマ別研修を年数回実施する。(研修内容については別紙参照)
- ⑤ 1年目の職員に対しては新任職員行動チェックリストおよび育成面接を年3回行う。
- ⑥ 2年目の職員に対しては同様に年2回の育成面接を行い、新任職員の育成を図る。育成面接はアドバイザーとスーパーバイザーが事前協議を行い、新任職員へのアドバイ

スのポイントを明確にしたうえで行う。新任職員への育成面接には管理職がスーパーバイザーとして同席する。

- ⑦ 3年目以上の職員に対して人事考課および結果面接を年2回実施し、職員の資質向上を図る。人事考課を実施する際は、その精度を高めるために、チーフ以上の職員が参加する人事考課検証会議を実施する。また、初めて考課を行う職員と人事考課に取り組む職員に対しては人事考課研修を実施する。
- ⑧ チューター制度を活用し、経験の浅い職員の育成はもとよりチューター自らの後輩育成力を向上させる。
- ⑨ チーフの役割を理解するために、チーフ研修を6月に実施する。
- ⑩ 1年目以上の希望する職員が12月までに年1回他部門での体験研修を行う。
- ⑪ 中途入社職員の定着支援のために、中途入社者研修を実施する。
- ⑫ 複数の職員で業務を行っている部門にチームリーダー制を導入し、人材育成の充実に図る。
- ⑬ 職員が仕事以外でも交流できる機会(サークル活動や職員懇親会等)をつくり意識の共有化を図り、組織としての一体感を醸成する。

(5) 福祉教育

- ① 他の療育機関、施設等との連携を保つ。必要に応じて職員の相互派遣を実施し、それらの機関との連携を密にする。
- ② 大学・短大・専門学校、他施設等の実習・研修生の受け入れを行い、人材育成に寄与する。また、特別支援学校高等部実習生や中学校職場体験実習の受け入れも行う。
- ③ ボランティアの受け入れ、育成や地域住民との交流に積極的に取り組む。

(6) 広報活動

- ① 法人機関紙「落穂会だより」を年4回発行し、内容の充実に努める。
- ② ホームページやインスタグラムを有効活用し、広く社会に向けて情報を発信する。
ホームページ (<http://www.asahigaokagakuen.jp/>)
インスタ (https://www.instagram.com/gallery._asahiya)

(7) その他

- ① 安全運転について、朝礼で安全運転に関する注意喚起を行う。日々交通事故、交通違反がないように安全運転を行う。公用車運転中はもちろんのこと通勤時、私用で運転する際も安全運転を心がける。また、安全運転に関する研修会を実施し職員の安全運転に対する意識を高める。
- ② 提出物(日誌等記録・報告書・各種届)や出勤簿の捺印、納入金等の提出期限を確実に守る。

7. 環境整備・安全管理

(1) 環境整備

- ① 清潔・快適・安全な環境で生活するために、園内外の整理整頓、清掃に努め、利用者に快適な生活環境を提供する。
- ② 修繕・修理の必要な箇所については迅速に対応する。

(2) 安全管理

- ① 危険個所のチェック・改善等を行い、安全な環境づくりに配慮する。

- ② 事故が起こった場合は必ず事故報告書に記録し、事故状況について職員間で情報共有を図るとともに、事故原因を分析すること等により今後の事故防止に役立てる。
- ③ 日々の業務における事故防止への職員の意識を高める為にヒヤリハット報告書を活用し、事故につながる事例の収集を行い、事故防止に役立てる。特に服薬に関する事故につながるようなヒヤリハットを減少させる。
- ④ 避難・消火訓練（毎月）、防災設備点検（年2回）、総合防災訓練（年2回）、不審者対応訓練（年1回）を行う。また、訓練の中で現場職員による炊き出し訓練を行う機会を設ける。

8. 保護者・地域社会との連携・交流

(1) 保護者との連携

- ① 本人・保護者・施設は三位一体であるとの観点から、保護者との連携を十分に図る。
- ② 面会、外出、一泊帰省、長期帰省、学園行事への参加等を通して本人と家族との関わりが薄くならないように配慮する。外出・帰省については、基本的に本人・家族の要望により行うが、家庭事情により配慮しなければならないケースについては、個別に相談を行う。
- ③ 利用者の学園での様子を家庭に伝えるために、家庭通信（年2回）を送付する。
- ④ 保護者職員研修会、保護者職員懇談会、保護者会総会、役員会等を通じ保護者との連携を密にする。
- ⑤ 個別相談（年1回）、日中活動参観（年1回）の機会を設け、本人・家族の意見、要望等を聴く機会とし、可能な限り利用者の個別支援計画に反映させる。
- ⑥ 保護者会のボランティア活動（年1回）をバックアップする。

(2) 地域社会との交流

【最重点目標3】に準ずる。

(3) 社会貢献

NPO 法人かごしまホームレス生活者支えあう会、NPO 法人やどかりサポート鹿児島に相談支援専門員を週2回派遣し、必要に応じて関係機関と連携を図りながら支援を行う。鹿児島県社会福祉法人経営者協議会が実施する「かごしまおもいやりネットワーク事業」に参画する。

令和2年度 行事予定表

4月					
日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ
1	水		事業所見学会AM 自治会総会・日中活動編成説明AM 職員会議(事業計画説明):地域生活支援センターPM	事業所見学会AM 職員会議(事業計画説明):地域生活支援センターPM	事業所見学会AM 職員会議(事業計画説明):地域生活支援センターPM
2	木			開級式:(歩路)AM/(希路)PM	
3	金				開級式(トリア)AM
4	土	○	動く散髪AM 岩川囑託医診療PM		
5	日	○		春山地区総会	
6	月		鹿児島養護始業式	学校始業	
7	火		鹿児島養護入学式		
8	水		1寮チーム会議AM 児童部合同チーム会議AM		
9	木		日中①チーム会議PM 2寮チーム会議PM		
10	金		日中②チーム会議PM 3寮チーム会議PM		
11	土	○			
12	日	○			
13	月		訪問理容AM 日中③チーム会議PM	とわチーム会議13:30～ GH世話人会PM	
14	火		日中④⑤チーム会議PM 県知障協定例総会	県知障協定例総会 利用者支援委員会ミーティングPM	
15	水			児発合同チーフ会議PM	児童発達合同チーフ会議PM
16	木		誕生日会	我路チーム会議AM 歩路チーム会議PM	
17	金		鹿児島養護家庭訪問期間～22日 新任職員歓迎会①19:00～	新任職員歓迎会①19:00～	新任職員歓迎会①19:00～
18	土	○			
19	日	○	旭センターふれあいバザー 保護者会監事監査13:30～ 保護者会役員会14:30～16:00	旭センターふれあいバザー	
20	月		窓拭き週間	あすもねチーム会議18:30～ 環境整備委員会11:30～12:15	避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM)
21	火		運営委員会PM	ラソんチーム会議AM 運営委員会PM	ガーデンキッズチーフ会議PM 運営委員会PM
22	水		新井囑託医診療PM 人事考課改定プロジェクト①13:30～	ゆうひが丘チーム会議PM 人事考課改定プロジェクト①13:30～	人事考課改定プロジェクト①13:30～
23	木		健康管理給食委員会①PM DVD視聴会	DVD視聴会	セルク・トリアチーム会議PM
24	金		チューター研修PM	歩路避難訓練AM チューター研修PM	チューター研修PM
25	土	○	県知障協親善球技大会:中止	県知障協親善球技大会:中止 2.10.11班常会AM	
26	日	○			
27	月		草刈り週間① 事務チーム会議AM	ゆうひが丘避難訓練(AM:希路) 事務チーム会議AM	
28	火				
29	水	○	昭和の日	昭和の日	昭和の日
30	木			リスクマネジメント委員会①	
備考:			避難訓練(福元)、落穂会だより発行、ファンヒーター 収納、新任職員育行動チェックリスト配布、人権 侵害ゼロへの誓い配布、除草剤散布		
			新任職員育行動チェックリスト配布、人権 侵害ゼロへの誓い配布		
			新任職員育行動チェックリスト配布、人権 侵害ゼロへの誓い配布、DVD視聴会		

令和2年度 行事予定表

5月					
日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ
1	金				
2	土		岩川囀託医診療PM 動く散髪AM		
3	日	○	憲法記念日	憲法記念日	憲法記念日
4	月	○	みどりの日	みどりの日	みどりの日
5	火	○	こどもの日	こどもの日	こどもの日
6	水	○	振替休日 ASAHIYAワークショップ①(予定)	振替休日	振替休日
7	木		落穂会だより編集会議PM	落穂会だより編集会議PM	
8	金			児童発達合同保護者会AM	児童発達合同保護者会AM
9	土		日中活動参観PM	端午馬術大会(霧島)~10日 日中活動参観(あすもね)PM	
10	日	○	YPOフレンズコンサート15:30~(仮) 保護者会総会13:00~(仮) 児童)自治会	YPOフレンズコンサート15:30~(仮) 保護者会総会13:00~(仮)	
11	月		訪問理容AM 側溝掃除週間 生活棟・日中合同チーフ会議PM	歩路・希路就学前個別相談~5/15 GHチーム会議AM 児発合同チーフ会議PM	児発合同チーフ会議PM
12	火		県経営協総会・セミナー	県経営協総会・セミナー	
13	水			地域センター児童チーフ会議10:30~	
14	木			相談支援チーム会議AM 健康管理・給食委員会①PM	
15	金				ガーデンキッズチーフ会議PM
16	土	○	全国障害者スポーツ大会リハーサル大会~17日	全国障害者スポーツ大会リハーサル大会 ~17日 春山地区草払い	
17	日	○	県障害者スポーツ大会兼全国障害者スポーツ大会リハーサル	県障害者スポーツ大会兼全国障害者スポーツ大会リハーサル	
18	月		エアコン・空気清浄機清掃週間	県社協相談専門分野別研修~19日	セルク就学前個別相談~30日
19	火				
20	水		中期経営計画策定委員会①PM	中期経営計画策定委員会①PM	中期経営計画策定委員会①PM
21	木		誕生日会 運営委員会PM	地域センター成人チーフ会議10:30~ 運営委員会PM	運営委員会PM
22	金		職員会議PM 新任職員歓迎会②19:00~	職員会議PM 新任職員歓迎会②19:00~	職員会議PM トリア早降園 新任職員歓迎会②19:00~
23	土		鹿児島養護学校運動会		
24	日	○			
25	月		鹿児島養護振替休業日	乗馬倶楽部チーム会議AM 歩路避難訓練AM 2班常会PM	トリア就学前個別相談~30日
26	火		秋まつり実行委員会①PM	秋まつり実行委員会①PM ゆうひが丘避難訓練(AM:希路/PM:ニポポ)	避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM)
27	水		新井囀託医診療PM 新任チーフ研修	歩路・あすもね内科健診PM ラソン避難訓練PM 新任チーフ研修	新任チーフ研修
28	木		DVD視聴会	DVD視聴会	セルク・トリアケース会議PM
29	金		成人部自治会AM		
30	土		BoonBoonFesta(予定)		
31	日	○			
備考:			避難訓練(黒木、平田)、鹿児島歯科学院専門学校実習期間(5月~9月)、除草剤散布、旭センターワックス(剥離)、県知事杯知的障害者フットサル大会、施設内人権侵害防止チェックリスト実施、児童部内科健診、蟻虫検査 あすもね内科検診、県知事杯知的障害者フットサル大会、施設内人権侵害防止チェックリスト実施 施設内人権侵害防止チェックリスト実施、DVD視聴会		

令和2年度 行事予定表

6月					
日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ
1	月		腰椎検査① 窓ふき週間 国際大学保育実習～12日	腰椎検査①	腰椎検査①
2	火				
3	水				ペアプロ保護者研修①PM
4	木		職員健診AM DVD視聴会	職員健診AM DVD視聴会	職員健診AM
5	金		落穂会だより編集会議PM	落穂会だより編集会議PM	
6	土	○	動く散髪AM		
7	日	○			
8	月		訪問理容AM 日中④⑤チーム会議PM		
9	火		ABチーム会議AM 日中②チーム会議PM 2寮チーム会議PM		ガーデンキッズチーフ会議PM
10	水		CDチーム会議AM 日中③チーム会議PM 3寮チーム会議PM	ペアプロ職員研修①AM	ペアプロ保護者研修②PM
11	木		日中①チーム会議PM 1寮チーム会議AM 誕生日会	児発合同チーフ会議PM	児童発達合同チーフ会議PM
12	金				
13	土	○		ヘルパー講習会①②:岡山県～14日 放デイ合同保護者会AM	放デイ合同保護者会AM
14	日	○			
15	月			とわチーム会議13:30～ ペアプロ職員研修②AM	
16	火		人事考課者研修PM	我路チーム会議AM ラソンチーム会議AM 人事考課者研修PM	人事考課者研修PM
17	水		宿泊旅行①～19日	ゆうひが丘チーム会議PM	ペアプロ保護者研修③PM
18	木			cds全国職員研修～19日 歩路歯科健診AM 歩路チーム会議PM	
19	金				
20	土	○			
21	日	○		公認心理師試験	
22	月		運営委員会PM	運営委員会PM あすもねチーム会議18:30～	運営委員会PM
23	火		人事考課改定プロジェクト②10:30～ 職員会議PM	人事考課改定プロジェクト②10:30～ 職員会議PM	人事考課改定プロジェクト②10:30～ 職員会議PM トリア早降園
24	水		新井囑託医診療PM	歩路避難訓練AM ペアプロ職員研修③AM	避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM) ペアプロ保護者研修④PM
25	木		健康管理給食委員会②PM 事務チーム会議AM	ゆうひが丘避難訓練(AM:希路) 事務チーム会議AM 2.10.11班常会PM	
26	金	○			
27	土	○			
28	日	○	鹿児島市施設職員親善球技大会	鹿児島市施設職員親善球技大会	鹿児島市施設職員親善球技大会
29	月			ペアプロ職員研修④AM	
30	火			就学教育相談会議9:30～	就学教育相談会議(仮)
備考:			避難訓練(大迫)福祉フェスタin吉田、施設内人権侵害防止に関する改善シート作成、岩川囑託医診療、養護学校産業現場実習(前期)	養護学校産業現場実習(前期)、施設内人権侵害防止に関する改善シート作成	施設内人権侵害防止に関する改善シート作成、DVD視聴会

令和2年度 行事予定表

7月					
日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ
1	水		全国施設長研修会～2日 園内安全点検	全国施設長研修会～2日	ペアプロ保護者研修⑤PM
2	木		宿泊旅行②～3日	関係機関研修会①AM 総合発達相談会(東部)	関係機関研修会①AM 総合発達相談会(東部)
3	金				
4	土	○	動く散髪AM	児発放デイ自主研修①PM	児発放デイ自主研修①PM
5	日	○			
6	月		草刈り週間②	地域センター児童チーフ会議10:30～	
7	火		九州地区職員研修会(佐賀):中止	九州地区職員研修会(佐賀):中止	九州地区職員研修会(佐賀):中止
8	水				ペアプロ保護者研修⑥PM
9	木			相談支援チーム会議AM 健康管理・給食委員会②PM 児発合同チーフ会議PM	児発合同チーフ会議PM
10	金			ペアプロ職員研修⑤AM	マルヤガーデンズ子育てセミナーPM ガーデンキッズチーフ会議PM
11	土	○	春山地区夏祭り(仮)	春山地区夏祭り(仮) 児発・放デイ父母合同保護者懇親会PM	児発・放デイ父母合同保護者懇親会PM ペアプロ職員研修①PM
12	日	○			
13	月		訪問理容AM CDチーム会議AM 生活棟・日中合同チーフ会議PM	GHチーム会議AM	
14	火		ABチーム会議AM	CDS役員会～16日	
15	水				
16	木		誕生日会 運営委員会PM	シュバルチーム会議AM 運営委員会PM	運営委員会PM
17	金		職員会議PM	ペアプロ職員研修⑥AM 職員会議PM GH世話人会PM	職員会議PM
18	土				ペアプロ職員研修②PM
19	日	○	児童)自治会		
20	月		大掃除週間 鹿児島養護終業式	鹿児島養護終業式	
21	火		中期経営計画策定委員会②PM 鹿児島養護夏季休業～8/31	放デイ夏休み～8/31 中期経営計画策定委員会②PM	中期経営計画策定委員会②PM
22	水			地域センター成人チーフ会議10:30～	
23	木	○	海の日 ASAHIYAワークショップ② 春山地区夏祭り(予定)	海の日 春山地区夏祭り(予定)	海の日 トリア引越し～26日
24	金	○	スポーツの日	スポーツの日	スポーツの日
25	土	○		2班常会PM	
26	日	○			
27	月		成人部自治会AM	歩路避難訓練AM	
28	火		やまびこPT訪問①	ゆうひが丘避難訓練(AM:希路)	避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM・ピッコロPM)
29	水		新井囀託医診療PM		
30	木		DVD視聴会	DVD視聴会	セルク・トリアチーム会議PM
31	金				
備考:			避難訓練(新澤)、落穂会だより発行、岩川囀託医診療、除草剤散布、旭福祉センターワックス(剥離)、鹿児島県知事杯知的障害児・者フットサル大会		DVD視聴会

令和2年度 行事予定表

8月					
日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ
1	土	○	個別相談期間～12日 新任職員激励会(保護者会主催) 動く散髪AM	あすもね・GH個別相談～12日 新任職員激励会(保護者会主催)	
2	日	○			
3	月		消防設備点検 訪問理容AM 落穂会だより編集会議PM 遊具点検	落穂会だより編集会議PM	
4	火		日中③チーム会議PM 3寮チーム会議PM		
5	水		日中④⑤チーム会議PM 1寮チーム会議AM	地域センター合同避難訓練①AM	
6	木		日中①チーム会議PM 2寮チーム会議PM		
7	金		日中②チーム会議PM 相談・苦情解決の第三者委員会	児発合同チーフ会議PM	児発合同チーフ会議PM
8	土				ペアプロ職員研修③PM
9	日	○			
10	月	○	山の日	山の日	山の日
11	火				ガーデンキッズチーフ会議PM
12	水				
13	木		通所部夏季休暇～16日	あすもね夏季休暇～16日 我路・ニポポ・ラソン夏季休暇～16日 シュバル夏季休暇～15日	ガーデンキッズ夏季休暇～16日
14	金		東京パラリンピック聖火ビジットPM		
15	土	○			
16	日	○			
17	月			とわチーム会議13:30～ あすもねチーム会議18:30～	
18	火				
19	水		人事考課改定プロジェクト③13:30～	人事考課改定プロジェクト③13:30～	人事考課改定プロジェクト③13:30～
20	木		誕生日会 DVD視聴会	ゆうひが丘総合防災訓練AM DVD視聴会	
21	金		運営委員会PM	運営委員会PM	運営委員会PM
22	土				ペアプロ職員研修④PM
23	日	○			
24	月			相談支援専門員前・中期研修会～27日	
25	火			2.10.11班常会PM	
26	水		不審者対応訓練PM 防犯点検 新井囑託医健診・肝炎ワクチン①PM	歩路避難訓練AM	
27	木			不審者対応訓練AM ラソン避難訓練PM	セルク・トリアケース会議PM
28	金		事務チーム会議AM 秋まつり実行委員会②PM	事務チーム会議AM 秋まつり実行委員会②PM	避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM)
29	土	○			
30	日	○			
31	月				
備考:避難訓練(茶屋)、旭福祉センターワックス(剥離)、除草剤散布、岩川囑託医診療			我路遠足①～④日程調整中、GH旅行①(未定)		DVD視聴会

令和2年度 行事予定表

9月						
日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ	
1	火		鹿児島養護始業式	歩路個別相談～7日		
2	水		宿泊旅行③～4日			
3	木		健康管理給食委員会③PM			
4	金					
5	土	○	動く散髪AM		ペアプロ職員研修⑤	
6	日	○	児童)自治会			
7	月		落穂会だより編集会議PM エアコン・空気清浄機清掃週間	落穂会だより編集会議PM		
8	火			我路チーム会議AM		
9	水			地域センター児童チーフ会議10:30～ 児発合同チーフ会議PM	児発合同チーフ会議PM	
10	木			相談支援チーム会議AM 放デイ個別相談会～15日 健康管理・給食委員会③PM		
11	金		生活棟・日中合同チーフ会議PM			
12	土	○		ペアプロ保護者研修①	ペアプロ職員研修⑥	
13	日	○				
14	月		草刈り週間③、訪問理容 運営委員会PM	希路個別相談～18日 GHチーム会議AM 運営委員会PM	運営委員会PM	
15	火		中期経営計画策定委員会③PM 鹿児島養護高2修学旅行～17日	サービス管理責任者国研修～18日(予) 中期経営計画策定委員会③PM	中期経営計画策定委員会③PM	
16	水			環境整備委員会会議PM	ガーデンキッズチーフ会議PM	
17	木		誕生日会	地域センター成人チーフ会議10:30～ リスクマネジメント委員会②PM		
18	金		鹿児島養護高2休養措置日			
19	土	○		療育発表会AM	療育発表会AM	
20	日	○				
21	月	○	敬老の日	敬老の日	敬老の日	
22	火	○	秋分の日	秋分の日	秋分の日	
23	水		総合防災訓練PM 窓拭き週間 鹿児島女子短期大学保育実習～10/5 全国職員研修会(京都)～24日	バイキング		
24	木		DVD視聴会	DVD視聴会		
25	金		成人部自治会AM	乗馬倶楽部チーム会議AM 相談研修後期1 2班常会PM		
26	土			あすもねバーベキューPM ペアプロ保護者研修②		
27	日	○				
28	月		職員会議PM	歩路避難訓練AM 職員会議PM	職員会議PM	
29	火		宿泊旅行④～30日 秋まつり実行委員会③PM	ゆうひが丘避難訓練(AM:希路) 秋まつり実行委員会③PM	避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM・ピッコロPM)	
30	水		新井囑託医診療・肝炎ワクチン②PM 鹿児島養護小5宿泊学習 九州地区施設長研修会(福岡)～10/1	九州地区施設長研修会(福岡)～10/1		
備考:			総合防災訓練(黒木)、人事考課、新任職員育成面接、囑託医診療、肝炎ワクチン予防接種2回目、市知的障害施設職員親善球技大会、ふれあいスポーツ大会、岩川囑託医診療、除草剤散布		GH旅行②(未定)、人事考課、新任職員育成面接、市知的障害施設職員親善球技大会、ふれあいスポーツ大会、マルヤガーデンズペアレントプログラム全6回(9月～10月)、人事考課、新任職員育成面接、市知的障害施設職員親善球技大会、DVD視聴会	

令和2年度 行事予定表

10月					
日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ
1	木		九州地区施設長研修会(福岡)9/30～10/1	九州地区施設長研修会(福岡)9/30～10/1	
2	金		鹿児島養護小5休養措置日		
3	土	○	動く散髪AM	ペアプロ保護者研修③AM	
4	日	○			
5	月		側溝掃除週間		トリア個別相談～10日
6	火		ABチーム会議AM 1寮チーム会議AM 鹿児島養護中3修学旅行～8日		
7	水		CDチーム会議AM 2寮チーム会議PM	児発合同チーフ会議PM	児発合同チーフ会議PM
8	木		日中②チーム会議PM 3寮チーム会議PM		
9	金		日中③チーム会議PM 鹿児島養護中3休養措置日	動物取扱責任者講習会	ガーデンキッズチーフ会議PM
10	土	○	ハッピーフェスタ2020:～11日	ペアプロ保護者研修④AM ハッピーフェスタ2020:～11日	
11	日	○			
12	月		訪問理容AM 日中④⑤チーム会議PM	とわチーム会議13:30～	セルク個別相談～24日
13	火		日中①チーム会議PM		
14	水		宿泊旅行⑤～16日 人事考課改定プロジェクト④PM 鹿児島養護中2宿泊学習～15日	人事考課改定プロジェクト④PM	人事考課改定プロジェクト④PM
15	木		誕生日会	歩路チーム会議PM	
16	金		鹿児島養護中2休養措置日 運営委員会PM	運営委員会PM	運営委員会PM
17	土	○		ペアプロ保護者研修⑤AM 春山地区草払い・グラウンド草払い	
18	日	○			
19	月			相談研修後期2:～20日 あすもねチーム会議18:30～	
20	火			ラソンチーム会議AM	
21	水		職員会議PM	ゆうひが丘チーム会議PM 職員会議PM GH世話人会PM	職員会議PM
22	木		鹿児島養護(小1～4)1日遠足 DVD視聴会	DVD視聴会	
23	金				
24	土	○	全国障害者スポーツ大会鹿児島大会～26日	関係機関研修会②AM 全国障害者スポーツ大会鹿児島大会～26日 春山地区運動会準備	関係機関研修会②AM
25	日	○		春山地区運動会 2・10.11班常会PM	
26	月		草刈り週間④	歩路避難訓練AM 次年度放デイ打ち合わせ10:30～	セルク・トリアチーム会議PM
27	火		事務チーム会議AM 秋まつり実行委員会④PM	ゆうひが丘避難訓練(AM:希路) 事務チーム会議AM 秋まつり実行委員会④PM	
28	水		新井囀託医診療・インフルエンザ予防接種 鹿児島養護小6修学旅行～29日		避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM)
29	木			我路チーム会議AM	トリア公開療育AM
30	金		鹿児島養護小6休養措置日		セルク公開療育PM
31	土	○		ペアプロ保護者研修⑥AM	
備考:避難訓練(松元)、落穂会だより発行、花野小バザー、除草剤散布、旭センターワックス、岩川囀託医診療、ストレスチェック			放デイアンケート調査、GH旅行③(未定)、ストレスチェック		ハロウィンイベント、ストレスチェック、DVD視聴会

令和2年度 行事予定表

11月					
日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ
1	日	○			
2	月		エアコン・空気清浄機清掃週間		
3	火	○	文化の日	文化の日	文化の日
4	水		落穂会だより編集会議PM	落穂会だより編集会議PM	
5	木			相談支援チーム会議AM	
6	金				
7	土	○	保護者会ボランティア9:00～ 動く散髪AM	保護者会ボランティア9:00～	
8	日		第7回 秋まつり (ASAHIYAワークショップ③)	第7回 秋まつり (ASAHIYAワークショップ③)	第7回 秋まつり (ASAHIYAワークショップ③)
9	月			ニポポ個別相談～14日	
10	火			GHチーム会議AM	
11	水		利用者健診AM	あすもね・GH利用者健診AM 児発合同チーフ会議PM 健康管理・給食委員会④PM	児発合同チーフ会議PM
12	木			ods中・四国・九州地区職員研修～13日 歩路みかん狩りAM	
13	金				
14	土	○			ピッコロ個別相談～21日
15	日	○	児童)自治会		
16	月		訪問理容AM 生活棟・日中合同チーフ会議PM	ラソン個別相談～20日	
17	火			シュバルチーム会議AM	ガーデンキッズチーフ会議PM
18	水		中期経営計画策定委員会④PM	歩路公開療育AM 中期経営計画策定委員会④PM	中期経営計画策定委員会④PM
19	木		宿泊旅行⑥(日帰り) DVD視聴会	歩路歯科健診PM 地域センター合同チーフ会議PM DVD視聴会	
20	金		運営委員会PM	運営委員会PM 総合発達相談会(北部)	運営委員会PM 総合発達相談会(北部)
21	土	○		ニポポ一日遠足	
22	日	○		菊花馬術大会(霧島)	
23	月	○	勤労感謝の日 旭センターバザー(仮)	勤労感謝の日 旭センターバザー(仮)	勤労感謝の日
24	火		職員会議PM	歩路避難訓練AM 職員会議PM	職員会議PM
25	水		新井囀託医診療・成人部通所内科健診 PM	歩路・あすもね内科健診PM 2班常会PM	
26	木		健康管理給食委員会④PM 誕生日会	ゆうひが丘避難訓練(AM:希路/PM:ニポポ) 児発放デイ自主研修②PM	児発放デイ自主研修②PM
27	金		成人部自治会AM	ラソン避難訓練PM	セルク・トリアケース会議PM
28	土			シュバル公開療育	
29	日	○	鹿児島養護学習発表会		
30	月		秋まつり反省会 鹿児島養護振替休業	秋まつり反省会 希路公開療育AM	避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM)
備考:			避難訓練(小中原)、ファンヒーター準備、旭センターワックス、川上小バザー、YPOチャリティーコンサート(or12月)、ストレスチェック、児童部インフルエンザ予防接種2回目、岩川囀託医健診、ファンヒーター準備、鹿児島養護後期産業現場実習	就学教育相談結果面談、我路放デイ保護者見学会、ファンヒーター準備、鹿児島養護後期産業現場実習	就学教育相談結果面談、児童発達支援事業研修会、DVD視聴会

令和2年度 行事予定表

12月					
日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ
1	火		腰椎検査② 大掃除週間	腰椎検査② 全国児童発達支援部会研修～2日	腰椎検査②
2	水				
3	木				
4	金		鹿児島養護高)KAYOマラソン 落穂会だより編集会議PM	落穂会だより編集会議PM	
5	土	○	動く散髪AM	障害者乗馬講習会(福岡)～	
6	日	○			
7	月		中途入社者研修PM	中途入社者研修PM	セルク・トリア療育参観～12日 中途入社者研修PM
8	火		CDチーム会議AM 1寮チーム会議AM		
9	水		ABチーム会議AM 日中①チーム会議PM 3寮チーム会議PM	児童発達合同チーム会議PM	児童発達合同チーム会議PM
10	木		日中②チーム会議PM 2寮チーム会議PM	我路チーム会議AM	
11	金		日中③チーム会議PM		
12	土	○			
13	日	○		RDA乗馬ヘルパー講習会②(神奈川)	
14	月		訪問理容AM 日中④⑤チーム会議PM	とわチーム会議13:30～	
15	火			ラソンチーム会議AM	ガーデンキッズチーム会議PM
16	水			ゆうひが丘チーム会議PM	
17	木		運営委員会PM 誕生日会 やまびこPT訪問②	運営委員会PM 歩路チーム会議PM	運営委員会PM
18	金			歩路避難訓練AM	
19	土	○	高木バンドクリスマスコンサート(仮)		
20	日	○		春山登山道整備(予定)	
21	月		職員会議PM	職員会議PM あすもねチーム会議18:30～	職員会議PM
22	火			ゆうひが丘避難訓練(AM:希路)	
23	水				
24	木		人事考課改定プロジェクト⑤PM 鹿児島養護終業式 DVD視聴会	人事考課改定プロジェクト⑤PM DVD視聴会	人事考課改定プロジェクト⑤PM 避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM・ピッコロPM)
25	金		事務チーム会議AM あさひが丘忘年会PM 鹿児島養護冬季休暇～1/7	事務チーム会議AM あさひが丘忘年会PM	
26	土	○		日本発達障害学会～27日	
27	日	○			
28	月		仕事納め	仕事納め(あすもね、歩路、希路、ニポポ、ラソン)、放デイ(15時まで)	仕事納め セルク・トリア・ピッコロ終了
29	火		通所部冬季休暇～1/3	あすもね冬季休暇～1/3 放デイ冬季休暇～1/3	ガーデンキッズ冬期休暇～1/3
30	水				
31	木	○			
備考:			避難訓練(二ノ宮)、夜勤に従事する職員の健康診断、鹿児島市障害者スポーツ記録会、センターワックス、岩川囀託医健診、YPOチャリティーコンサート、大掃除廃棄物処理(下旬)		
			大掃除廃棄物処理(環境整備員会)、春山地区忘年会(未定)、鹿児島市障害者スポーツ記録会、YPOチャリティーコンサート		

令和2年度 行事予定表

1月					
日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ
1	金	○	元旦	元旦 春山地区初日の出登山AM	元旦
2	土				
3	日	○			
4	月		落穂会新年式9:00～(地域センター) 通所部開始 遊具点検	落穂会新年式9:00～(地域センター) 放デイ開始 あずもね開始	落穂会新年式9:00～(地域センター) セルク・トリア開始
5	火				
6	水				
7	木				
8	金		鹿児島養護始業式 新成人を祝う会PM	新成人を祝う会PM	
9	土	○	動く散髪AM		
10	日	○	児童)自治会		
11	月	○	成人の日	成人の日	成人の日
12	火		エアコン・空気清浄機清掃週間	GHチーム会議AM 児童発達合同チーム会議PM	児童発達合同チーム会議PM
13	水		生活棟・日中合同チーム会議PM	地域センター児童チーム会議10:30～	
14	木		誕生日会 鹿児島養護小中入学面接・小中休業日	相談支援チーム会議AM	
15	金		成人部自治会AM	相談支援専門員研修会	
16	土		県知障協家族と職員の研修会～17日	県知障協家族と職員の研修会～17日	
17	日	○		新春馬術大会～上村乗馬苑	
18	月		訪問理容AM		ガーデンキッズチーム会議PM
19	火		運営委員会PM	運営委員会PM	運営委員会PM
20	水			関係機関研修会③PM	関係機関研修会③PM
21	木		DVD視聴会	地域センター成人チーム会議10:30～ DVD視聴会	
22	金		職員会議PM KAYOフェスタAM	職員会議PM GH世話人会PM	職員会議PM
23	土			児発放デイ自主研修③	児発放デイ自主研修③
24	日	○			
25	月		中期経営計画策定委員会⑤PM	中期経営計画策定委員会⑤PM 2班常会PM	避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM) 中期経営計画策定委員会⑤PM
26	火			相談現任研修会1:～27日 歩路避難訓練AM	
27	水		新井囁託医健診PM	ゆうひが丘避難訓練(AM:希路)	
28	木				セルク・トリアチーム会議PM
29	金			シュバルチーム会議AM	
30	土	○	保護者職員懇談会PM	児発放デイ合同保護者会AM 保護者職員懇談会(あずもね・GH)PM	児発放デイ合同保護者会AM
31	日	○			
備考:避難訓練(下川)、落穂会だより発行、武養祭、岩川囁託医健診				GH新年会(未定)	DVD視聴会

令和2年度 行事予定表

2月

日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ
1	月		窓拭き週間		
2	火				
3	水				
4	木		落穂会だより編集会議PM	落穂会だより編集会議PM	
5	金		バイキング		
6	土	○	動く散髪AM	ふるさと祭り旗立て(予定)	
7	日	○			
8	月		訪問理容AM 日中④⑤チーム会議PM	歩路園外療育(まつ組・たけ組)AM とわチーム会議13:30~	
9	火		日中③チーム会議PM 3寮チーム会議PM		
10	水		日中②チーム会議PM 1寮チーム会議AM	児発合同チーフ会議PM	児発合同チーフ会議PM
11	木	○	建国記念の日	建国記念の日	建国記念の日
12	金		日中①チーム会議PM 2寮チーム会議PM	健康管理・給食委員会⑤PM	
13	土			きょうだい支援会	
14	日	○			
15	月		エアコン・空気清浄機清掃週間 ABチーム会議AM 運営委員会PM	あずもねチーム会議18:30~ 運営委員会PM	運営委員会PM
16	火		CDチーム会議AM	乗馬倶楽部チーム会議AM ラソンチーム会議AM	ガーデンキッズチーフ会議PM
17	水		健康管理給食委員会⑤PM 鹿児島養護小中入学説明会	ゆうひが丘チーム会議PM 環境整備委員会会議PM	
18	木		鹿児島養護高入学選考(高等部休業~19日) 九州地区種別部会合同研修会(長崎)~19日	歩路チーム会議PM 九州地区種別部会合同研修会(長崎)~19日	九州地区種別部会合同研修会(長崎)~19日
19	金				セルク・トリアケース会議PM
20	土	○			
21	日	○			
22	月		人事考課改定プロジェクト⑥PM	歩路避難訓練AM 人事考課改定プロジェクト⑥PM	人事考課改定プロジェクト⑥PM
23	火	○	天皇誕生日	天皇誕生日	天皇誕生日
24	水		新井囑託医診療、肝炎ワクチン3回目PM	相談現任研修会2:~25日 ゆうひが丘避難訓練(AM:希路/PM:ニポポ)	
25	木		誕生日会 DVD視聴会	我路チーム会議AM ラソン避難訓練PM 2班常会PM DVD視聴会	避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM)
26	金		事務チーム会議10:30~ 職員会議PM	事務チーム会議10:30~ 職員会議PM	職員会議PM
27	土	○		ふるさと祭り準備(予定)	
28	日	○		ふるさと祭り(予定)	
備考:			避難訓練(山下)、人事考課、新任職員育成面接、除草剤散布、旭福祉センターワックス、春山ふるさと祭り、岩川囑託医健診		
			人事考課、新任職員育成面接		
			人事考課、新任職員育成面接、DVD視聴会		

令和2年度 行事予定表

3月					
日	曜	休日	あさひが丘学園	地域生活支援センター	ガーデンキッズ
1	月		行事検討委員会PM 園内安全点検 第一幼児短期大学保育実習～12日	行事検討委員会PM	行事検討委員会PM
2	火				セルク午前クラス園外療育AM
3	水		消防設備自主点検 防犯点検	児発合同チーフ会議PM	児発合同チーフ会議PM
4	木		落穂会だより編集会議PM	リスクマネジメント委員会③PM 落穂会だより編集会議PM	
5	金			希路園外療育AM	
6	土	○	動く散髪AM		セルク午後クラス園外療育AM
7	日	○		なのはなホースショー(福岡恵光園)	
8	月		新任職員研修～9日	新任職員研修～9日	新任職員研修～9日
9	火		やまびこPT訪問③	歩路園外療育(うめ組・もも組)AM	ガーデンキッズチーフ会議PM
10	水			バイキング GHチーム会議AM	トリア園外療育AM
11	木		誕生日会 DVD視聴会	相談支援チーム会議AM DVD視聴会	
12	金		生活棟・日中合同チーフ会議PM	地域センター児童チーフ会議10:30～	
13	土	○			
14	日	○			
15	月		訪問理容AM エアコン・空気清浄機清掃週間	歩路避難訓練AM	
16	火		中期経営計画策定委員会⑥PM	ゆうひが丘避難訓練(AM・希路) 中期経営計画策定委員会⑥PM	中期経営計画策定委員会⑥PM
17	水				
18	木		運営委員会PM 鹿児島養護卒業式	地域センター成人チーフ会議10:30～ 運営委員会PM	運営委員会PM
19	金	○			
20	土	○	春分の日	春分の日	春分の日
21	日	○	児童)自治会		
22	月		鹿児島養護高入学説明会		
23	火				
24	水		職員会議PM	職員会議PM	職員会議PM
25	木		鹿児島養護修了式	地域センター合同避難訓練②AM 2班常会PM	
26	金		総合防災訓練PM		避難訓練(セルクAM/PM・トリアAM・ピッコロPM)
27	土	○			
28	日	○			
29	月		成人部自治会AM		
30	火			閉級式(歩路)AM/(希路)PM	
31	水		新井囑託医健診PM		閉級式(トリア)PM
備考:			総合防災訓練(二ノ宮)、訪問歯科診療、鶴丸高校体験PM、吉田南中職場体験、旭福祉センターワックス、岩川囑託医健診	鶴丸高校体験PM、吉田南中職場体験	DVD視聴会

社会福祉法人 落穂会

旭福祉センター・第二旭福祉センター

令和2年度事業計画書

第二旭福祉センター 施設長 水流 健一

(1) 中長期計画の策定・・・中長期プロジェクトメンバー

昨年度立ち上げた中期経営計画策定委員会を継続し、今年度中に法人全体の中期経営計画を策定することを目標とする。具体的なアクションプランまで策定し、令和3年度からの運用に向けて準備を進める。

(2) 職員必携の活用・・・職場改善2委員会

- ① 朝礼及び職員会議の場を活用し、職員必携の読み込みを行う。
 - ② 職員必携に関する具体的題目を年2回挙げ、感想文を提出する。
- 以上、これらを確実に実施することにより職員必携の理解度を深める。

(3) 地域と密着した活動の推進・・・地域貢献委員会

今年度も引き続き岡之原町内会の3班と10班の受け入れを実施予定。棒踊り保存会への出席を含め、積極的に地域行事や地域活動に参加する。また、地域との関係性を構築することそのものに価値があると位置づけ、各部署(入所・第二作業所・ベーカリー楓・NODOKA・各グループホーム・施設外就労)は、それぞれに地域との交流をより深いものとするように努める。

(4) 人材育成(職員育成制度の円滑な実施)・・・主任級会議

- ① 作業班別育成シートの運用を確実にを行う。また、実施状況の確認と今後の方策について作業委員会・育成担当職員との間で協議(10月予定)し、継続的な育成シートの運用に努める。
- ② 新人育成システムについて、特に入職直後から1年間のカリキュラムを確実に実施する。また、チューター制度の一部見直しを行うとともに、する側される側へのフォローアップ研修を実施、両者のレベルアップに繋げることで経験の少ない新人職員のケアと資質の向上を図る。
- ③ 先輩職員による現場OJTを積極的に推奨し、後輩職員の育成に努める。
- ④ 中堅職員育成計画の5年目となる今年度は、対象職員に対し年2回の面接とスキルアップ研修を実施、中堅職員の更なる資質向上を図る。

(5) 職場環境の充実・・・総務委員会

- ① ノー残業デイ（毎週金曜日）を設け、ワーク・ライフ・バランスの充実を図る。
- ② 有給休暇取得 一人当たり 10 日以上の取得を目標とし、また、4 日以上の連続休暇を年 2 回以上取得することを目標とする。

(6) 利用者・家族へのニーズに合わせた質の高い支援の提供・・・支援委・生活委

- ① 利用者の個別ニーズを作業・生活両面からの視点で的確に把握し、ニーズに合った短期目標・長期目標を支援計画に掲げ利用者支援の向上を図る。また、権利擁護・虐待防止に関わる研修・虐待防止ハンドブック等を活用した研修等を今年度も引き続き行い、充実した支援体制を確立させる。
- ② 年 3 回の家族代表者委員会・毎年 8 月の家族総会・1 月の新年会などを通し、家族との連携を深める。また、福祉施策の動向について家族へ情報提供を行う。

(7) リスクマネジメントへの体制づくり強化・・・野田副施設長

- ① 年 2 回の防災訓練と年 1 回の自主訓練に加え、非常災害時の模擬訓練を年 1 回実施し、非常事態の備えに対応できる体制づくりを構築する。
- ② 備蓄品(非常食と非常時の設備備品)の定期点検及び補充の実施を行う。

(8) 就労支援に関する情報収集・強化・・・就労移行担当者・B型担当者

- ① 引き続き就労移行支援事業についての体制強化を図る。今年度は先進事業所への外部研修などを通じ、就労移行支援担当者のスキル向上や移行支援のノウハウを学ぶ機会を設けるとともに、就労者 1 名の輩出を目標とする。
- ② 旭福祉センター・第二旭福祉センターの双方にある就労継続支援 B 型事業の令和 2 年度目標工賃について月額 28,000 円以上を目標とする。

(9) 各種作業部門 製販計画の達成・・・作業委員会

今年度も各作業班別 育成シートの完全実施を重点目標と定め、職員の能力向上を目指す。また、各作業班が策定した製販計画の達成を目指す。

(各作業班別の重点目標と売上目標)

作業班別	令和 2 年度重点目標	R 2 年度目標額
NODOKA	集客率アップ・接客サービス向上・新メニュー開発	7,500,000
楓（菓子班）	人材育成(育成シート活用、利用者スキルアップ)・協力体制の確立	17,500,000
竹工	人材育成シート活用による職員育成 コスト意識の向上 新規作業考案の為の情報収集	3,000,000
蔬菜	育成シートを活用した人材育成	

	職員、利用者の技術向上 協力体制の確立	4,200,000
陶芸	成型から焼成までの丁寧な作品作り	1,250,000
施設外就労	各顧客との連携強化・利用者支援の充実・ 施設外就労の制度理解	5,200,000
メンテナンス	育成シートと研修を活用した人材育成 医療関連サービスマークの更新準備	23,000,000
味噌	関係部署との連携 生産及び行事等への早期計画立案	1,400,000
合 計		63,050,000

以上

区分	実施状況	参加人数	備考	区分	実施状況	参加人数	備考
4月	<p>3日 県社会就労センター協議会施設長会</p> <p>14日 県知障協定例総会</p> <p>19日 センターふれあいバザー</p> <p>22日 県障害者福祉研究会</p> <p>25日 施設球技大会</p> <p>29日 吉野兵六夢まつり</p> <p>30日 利用者胸部レントゲン</p>	<p>2名</p> <p>4名</p> <p>職・利・保</p> <p>1名</p> <p>利用者</p> <p>職員・利用者</p> <p>利用者</p>	<p>県社会福祉センター</p> <p>サンロイヤルホテル</p> <p>旭センター</p> <p>ピースフルガーデン</p> <p>桜島溶岩グラウンド</p> <p>吉野公園</p> <p>旭センター</p>	7月	<p>2日～3日 全国的障害関係施設長等会議</p> <p>3日 福祉施設・事業所説明会</p> <p>8日 串野養護学校福祉施設等説明会</p> <p>10日～11日 全国社会就労センター総合研究大会</p> <p>12日 県知事杯フットサル大会</p> <p>17日 社会福祉法人会計研修</p> <p>19日 塚田神社六月灯</p> <p>25日～26日 キャンプ</p> <p>27日 就労支援ネットワーク会議</p> <p>27日～28日 九州知的障害関係施設職員研修</p>	<p>2名</p> <p>1名</p> <p>3名</p> <p>利用者</p> <p>2名</p> <p>職員・利用者</p> <p>職員・利用者</p> <p>2名</p> <p>5名</p>	<p>国際フォーラム</p> <p>鹿児島養護学校</p> <p>串野養護学校</p> <p>ふれあいスポーツランド</p> <p>サンロイヤルホテル</p> <p>塚田神社</p> <p>はーと・ぽーく</p>
5月	<p>3日～6日 春休暇帰省</p> <p>11日 倫理法人会倫理経営講演会</p> <p>12日 県ソーシャルワーカー協会理事会・総会</p> <p>15日 バーベキュー大会</p> <p>15日 保育養成校共催施設実習連絡会</p> <p>21日 市連絡協議会理事会</p> <p>23日 県障害者スポーツ大会</p> <p>27日 青年経営者部会</p> <p>28日～29日 知的障害者福祉協会新任職員研修</p>	<p>利用者</p> <p>3名</p> <p>1名</p> <p>利用者</p> <p>1名</p> <p>2名</p> <p>職員・利用者</p> <p>1名</p> <p>3名</p>	<p>城山ホテル</p> <p>福祉プラザ</p> <p>旭センター</p> <p>マリノバレス鹿児島</p> <p>パレスイン鹿児島</p> <p>チエスト小館ドーム</p> <p>ホテルレクストン</p> <p>サンロイヤルホテル</p>	8月	<p>5日 人権擁護研修</p> <p>5日～7日 就業支援基礎研修</p> <p>8日 利用者ピアガーデン</p> <p>12日 通所説明会・家族会総会・家族代表者委員会</p> <p>12～16日 夏休暇帰省</p> <p>14日 パリンピック聖火フェスティバル</p> <p>19日～20日 社会福祉施設等中堅職員研修</p> <p>21日 職場内人権擁護研修</p> <p>23日 みどりが丘納涼夏祭り</p>	<p>1名</p> <p>1名</p> <p>職員・利用者</p> <p>職員・保護者</p> <p>利用者</p> <p>職員・利用者</p> <p>2名</p> <p>職員</p> <p>職員・利用者</p>	<p>サンロイヤルホテル</p> <p>ポリテクセンター鹿児島</p> <p>のどか</p> <p>旭センター</p> <p>旭センター</p> <p>マリノバレスかごしま</p> <p>旭センター</p> <p>みどりが丘商店街</p>
6月	<p>3日 職員健康診断</p> <p>9日～10日 県社協新任職員研修</p> <p>12日 さんさん会定期総会</p> <p>19日 家族代表者委員会</p> <p>21日 施設職員親善球技大会</p> <p>26日 共同受注センター施設長・職員研修大会</p> <p>28日 吉田フェスタ</p>	<p>職員</p> <p>1名</p> <p>4名</p> <p>職員・保護者</p> <p>職員</p> <p>5名</p> <p>職員・利用者</p>	<p>旭センター</p> <p>マリノバレス鹿児島</p> <p>陸園</p> <p>旭センター</p> <p>サンライトボウル他</p> <p>城山ホテル</p> <p>吉田南中学校</p>	9月	<p>3日 社会福祉法人会計セミナー</p> <p>8日 共同受注センター理事会・専門委員会</p> <p>11日 市指定障害福祉サービス事業所等集団指導</p> <p>17日～18日 九州地区知的障害福祉関係施設長等研究大会</p> <p>18日 給食施設従事者研修会</p>	<p>2名</p> <p>1名</p> <p>2名</p> <p>2名</p> <p>1名</p>	<p>市町村自治会館</p> <p>県社会福祉センター</p> <p>かごしま市民福祉プラザ</p> <p>市民福祉プラザ</p>

区分	実施状況	参加人数	備考
10月	1日～2日 強度行動障害支援者養成研修(基礎) 1日～2日 職場内研修担当者研修 6日 相談員・コミュニケーション・ケア養成研修会 8日～9日 農福連携マルシェ 9日 社会福祉法人会計研修 18日 緑ヶ丘PTAバザー 21日～23日 全国知的障害福祉関係職員研究大会 24日 向陽会ふれあい祭り 25日 春山運動会 28日 県障害者保健福祉大会 29日～30日 九州社会就労センター研究大会	2名 1名 1名 職員・利用者 2名 職員・利用者 4名 職員・利用者 職員・利用者 1名 3名	サンロイヤルホテル 青少年会館 県社会福祉センター アミュプラザ マリンパレス鹿児島 緑ヶ丘中学校 やまびこ医療センター 春山グラウンド 県民交流センター
11月	2日～3日 強度行動障害支援者養成研修(実践) 3日 わくわく福祉交流フェア 8日 西伊敷小学校バザー 8日 あさひが丘祭り 13日 知的障害施設家族連合会研修会 14日 川上小学校PTAバザー 21日 ふれあいバザー	2名 職員・利用者 職員・利用者 職員・利用者 保護者 職員・利用者 職・利・保	サンロイヤルホテル 上町ふれあい広場 西伊敷小学校 あさひが丘学園 ハートピアかごしま 川上小学校 旭センター
12月	2日 利用者合同忘年会 6日 梅マロン 7日～8日 就労センター合同施設長・管理者・職員研修会 11日 家族代表者委員会 11日 県知障施設長等研修会 18日 社会福祉法人会計セミナー 25日 三州原学園クリスマス会 28日～31日 冬休暇帰省	職員・利用者 職員・利用者 3名 職員・利用者 3名 2名 2名 利用者	マリンパレス鹿児島 伊集院総合運動公園 サンロイヤルホテル 旭センター サンロイヤルホテル 市町村自治会館 三州原学園

区分	実施状況	参加人数	備考
1月	4日 新年式 6日 障害者虐待防止・権利擁護研修 16日 ナイスハート挨拶回り 20日～21日 家族並びに施設職員研修会 22日 社会福祉法人会計セミナー 23日 KAYOフェスタ 28日～31日 ナイスハートバザーin鹿児島 28日～29日 障害者支援施設部会全国大会 29日 県民間社会福祉施設職員退職共済説明会	1名 1名 職員・保護者 2名 職員・利用者 職員・利用者 1名	旭福祉センター ウェルビューかごしま 県社会福祉センター ホテル京セラ 市町村自治会館 鹿児島養護学校 山形屋 サンロイヤルホテル
2月	8日 社福法人会計研修 13日 楽しい大正発表会 18日 グループホーム事業所研修会	2名 職員・利用者 1名	城山観光ホテル 山形屋文化ホール サンロイヤルホテル
3月	5日 地域移行・地域定着支援勉強会 4日～5日 新規採用者職員研修 22日 各種別部会 27日～28日 吉野さくら祭りマーマーケット 29日 支援スタッフ部会	1名 2名 1名	はーと・ぱーく あさひが丘学園 サンロイヤルホテル 吉野公園 サンロイヤルホテル